ICOM

取扱説明書

国際VHFトランシーバー

IC-M506J

この無線機を使用するには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。
この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた国際VHFトランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

登録商標 / 著作権について

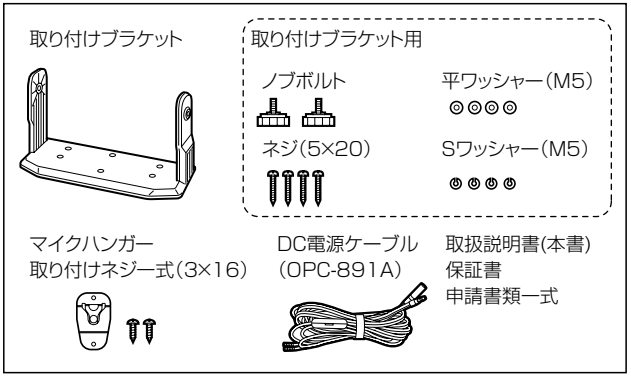
アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、デュアルワッチは、アイコム株式会社の登録商標です。
コマンドマイクは、アイコム株式会社の商標です。
本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

本製品の概要について

◎IPX8（水中形）★の性能に対応できるように設計されています。
◎ITU クラス D に合致する DSC 機能を搭載し、別売品のコマンドマイクによる遠隔操作機能などに対応しています。

★「IP表記について」（☞Piv）をご覧ください。

付属品について



電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
◎免許の範囲内で運用してください。
◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎無線局免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請は、免許の切れる6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。

運用上のご注意

◎本製品を使用するには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
◎本製品を船舶以外で使用しないでください。
本製品は、海上の船舶で使用するために認められている無線機です。
陸上で使用すると電波法違反で罰せられます。
◎チャンネル16を聴取するようにしてください。
◎チャンネル16を一般通話には使用しないでください。
チャンネル16は、遭難・安全/呼出し専用の共通チャンネルです。
また、指定されていないチャンネルで通信すると、電波法違反で罰せられます。

非常時の運用について

救助が必要な非常時には、下記のようにDistressコール(遭難信号)を送信します。

チャンネル16で送信する場合

1. MAYDAY(または遭難) 3回
2. THIS IS(こちらは) 1回
3. 遭難船舶局の呼出名称(または呼出符号)、その他の識別表示 3回
4. 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類、その他救助を容易にするための事項を伝えます。

デジタル選択呼び出しを使用して送信する場合

1. 保護カバーを上げて、[DISTRESS]を長く(約3秒)押します。
   - 短いビープ音が3回鳴ったあと、長いビープ音が1回鳴ります。
2. 受信証(ACK)待ち状態になります。
   - 受信証(ACK)を受信すると、自動的にチャンネル16に移行します。
3. [PTT]スイッチを押しながら、必要な情報を伝えます。

はじめに

防水性能について

本製品は、IPX8の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。
次のような使いかたをすると、防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または60分以上水中に放置したとき
- 海水や砂、泥などが無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れなどが発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- 無線機本体と外部DC電源装置端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- −20℃～+60℃以外の環境で使用したとき
- 薬品などの蒸気が発散、または薬品に触れるところに放置したとき
- 外部機器(電源、拡声器、外部スピーカーなど)接続用ケーブルに防水処理をしていないとき

海水が付着したときは？

海水が無線機やマイクロホンに付着したときは、真水で洗い流してください。
洗い流したあとは、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。

取り付け上のご注意

◎磁気コンパスから1m以上はなれた場所に本製品とマイクロホンを設置してください。
◎本製品の操作が容易にできる場所、さらに後面パネルの電源ケーブルやアンテナケーブルなどが余裕をもって納まるスペースを確保してください。
◎アンテナケーブルと電源ケーブルは、できるだけ短くして、船舶エンジンなどのノイズを拾って磁気的要素のあるものや電子計器に影響をおよぼさない配慮をしてください。
◎波の衝撃やエンジンの振動を大きく受けないように、しっかりと固定してください。
◎以下に示すようなインバーター内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター内蔵のおもな電子機器】

- LED照明器具
- 電磁調理器
- 船舶に搭載された電子機器
- 太陽光発電装置

取り扱い上のご注意

◎本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因により、通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

ユーザー登録について

弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム（サポート情報→ユーザー登録）にしたがって必要事項を入力してください。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。
また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IPX7（防浸形）：水深1mの静水（常温の水道水）に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IPX8（水中形）：最下部が水面下1mで60分間水中に没しても内部に水が入らないこと

はじめに

もくじ

はじめに ―― i

登録商標/著作権について …… i
本製品の概要について …… i
付属品について …… i
電波法上のご注意 …… ii
運用上のご注意 …… ii
非常時の運用について …… ii
防水性能について …… iii
海水が付着したときは？ …… iii
取り付け上のご注意 …… iii
取り扱い上のご注意 …… iii
ユーザー登録について …… iv
IP表記について …… iv

安全上のご注意 ―― vii

1. ご使用の前に ―― 1

■ MMSI番号の設定 …… 1

2. 各部の名称と機能 ―― 2

■ 前面パネル …… 2
■ 表示部 …… 4
■ マイクロホン …… 6
■ ソフトキー …… 7

3. 基本操作 ―― 8

■ チャンネル選択 …… 8
■ 受信と送信 …… 10
■ チャンネル名称の設定 …… 11
■ コールチャンネルの設定 …… 12
■ マイクロホンロック機能 …… 12
■ バックライト機能 …… 13
■ アクアクェイク機能 …… 13

4. スキャンの操作 ―― 14

■ スキャンについて …… 14
■ スキャン対象の設定 …… 15
■ スキャン操作のしかた …… 15

5. デュアルワッチ/トライワッチについて ―― 16

■ 概要について …… 16
■ 操作について …… 16

もくじ

6. DSCの操作 ―― 17
- ■ DSC ID(相手局)の設定 …… 17
- ■ 位置情報と時刻の設定 …… 20
- ■ Distressコール(遭難信号)…… 21
- ■ DSCコール(デジタル選択呼び出し)の送信…… 25
- ■ DSCコール(デジタル選択呼び出し)の受信…… 50
- ■ 送信履歴について …… 62
- ■ 受信履歴について …… 63
- ■ DSC設定について …… 65
- ■ AISトランスポンダー(船舶自動識別システム)を使用した個別呼び出しについて …… 69

7. そのほかの機能 ―― 71
- ■ インターカム操作 …… 71
- ■ RXヘイラー機能 …… 72
- ■ ヘイラーモードの操作 …… 72
- ■ 自動汽笛機能 …… 73
- ■ ボイスレコーダー機能 …… 75

8. MENU画面について ―― 76
- ■ 操作について …… 76
- ■ 設定項目の構成について …… 77
- ■ 設定(CONFIG)項目について …… 78
- ■ 無線機設定(RADIO SET)項目について …… 81

9. 接続と保守について ―― 85
- ■ 接続について …… 85
- ■ ヒューズの交換について …… 87
- ■ 無線機の取り付けかた …… 88
- ■ MB-75の取り付けかた …… 88
- ■ HM-195Bの取り付けかた …… 90

10. 定格と別売品 ―― 92
- ■ 定格 …… 92
- ■ 別売品についてのご注意 …… 93
- ■ 別売品一覧 …… 93

11. ご参考に ―― 94
- ■ 故障かな?と思ったら …… 94
- ■ アフターサービスについて …… 95

12. チャンネルリスト ―― 96

テンプレート ―― 97

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

◎使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。

◎次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。

◎お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

免責事項

お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎**引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
引火、火災、爆発の原因になります。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

◎**DC電源ケーブルを接続するときは、⊕（プラス）と⊖（マイナス）の極性を間違えないように十分注意してください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**マイクロホンのケーブルを持って、マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください。**
本人やほかの人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

◎**DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。**
ショートして発火、火災などの原因になります。

◎**指定以外の電源や電圧を使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**DC電源ケーブルや接続ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱しないでください。**
ショートして発火の原因になります。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎接続がゆるかったり、DC電源ケーブルや接続ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。
ショートして発火の原因になります。

◎長時間使用しないときは、安全のため本製品に接続する電源を取りはずしてください。
発熱、火災の原因になります。

◎雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、DC電源ケーブルには、絶対に触れないでください。
感電の原因になります。

◎指定以外のヒューズを使用しないでください。
火災、故障の原因になります。

◎指定以外のDC電源ケーブルを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎DC電源コネクターにホコリが付着した状態で使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎DC電源ケーブルや接続ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
発熱、感電、けが、故障の原因になります。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎−20℃〜+60℃以外の環境で使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

◎強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

◎湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。
また、本製品同士やほかの製品と重ねて設置しないでください。
火災、故障の原因になることがあります。

◎各コネクター部に金属片やゴミを付着させないでください。
ショートして発火の原因になることがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に設置しないでください。**
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。

◎**清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

◎**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。

◎**本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。

◎**マイクロホンおよび別売品を接続するときは、指定以外の機器を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎**DC 電源ケーブルや接続ケーブルを抜き差しするときは、必ずプラグの部分を持ってください。**
感電やショートして発火の原因になることがあります。

◎**長時間使用すると、後面部の温度が高くなりますので、後面部に触れないでください。**
また、周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
やけどの原因になることがあります。

◎**雨の中や水滴が付着したまま、またはぬれた手で電源ケーブルや接続ケーブルを付けたり、はずしたりしないでください。**
感電の原因になることがあります。

■ MMSI番号の設定

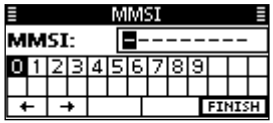
9桁のMMSI(Maritime Mobile Service Identity:DSC自局ID)番号は、電源を入れるときに設定できます。

※MMSI番号の設定は1回だけです。変更する場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

① [PWR]を長く(約1秒)押して、電源を入れます。
- 短いビープ音が3回鳴り、「NO DSC MMSI」が表示されます。

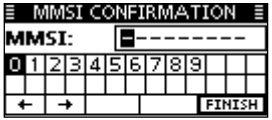
② [ENT]を押すと、MMSI設定モードになります。
- [CLEAR]を2回押すと、MMSI設定モードから通常画面に戻ります。
  この場合、DSCコールを送信、受信できません。
  電源を入れなおしてから、MMSI番号を設定してください。

③ 次の手順でMMSI番号を設定します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときはダイヤルを回すか、「←」、「→」を選択してから[ENT]、またはダイヤルを押します。



④ 9桁のMMSI番号を入力するまで、操作を繰り返します。
- 9桁のMMSI番号を入力すると、自動的に[FINISH]が選択されます。

⑤ [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- 「MMSI CONFIRMATION」が表示されます。

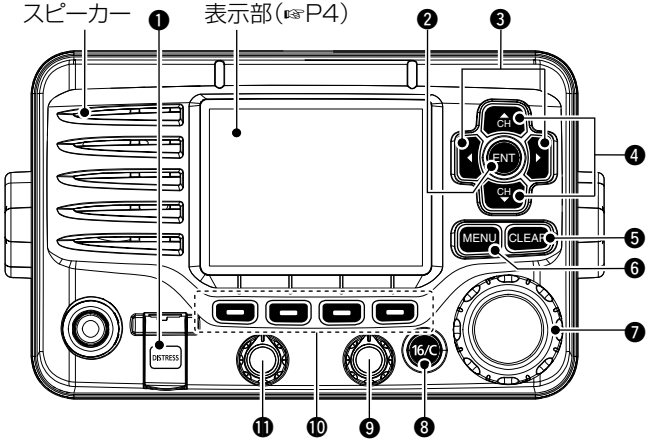


⑥ 確認のため、もう一度 MMSI 番号を入力します。
⑦ 手順 ③ ～ ⑤ の操作をします。
⑧ 入力が完了すると、下記の画面が表示されます。
- しばらくすると、通常画面に戻ります。

設定したMMSI番号は、MENU画面で確認できます。

2 各部の名称と機能

■ 前面パネル



❶DISTRESSキー [DISTRESS]

保護カバーを上げて、長く(約3秒)押すと、Distressコール(遭難信号)を送出します。(☞P21)

❷ENTERキー [ENT]

入力内容や選択した項目を設定するときに押します。

❸左右キー [◀]/[▶]

- ➥ 画面下部に表示されたソフトキーの機能を切り替えるときに押します。(☞P7)
- ➥ チャンネル名やMMSIコードの設定時、表示された一覧から文字を選択するときに押します。(☞P11、P17、P18)

❹上下/チャンネル選択キー [▲CH]/[▼CH]

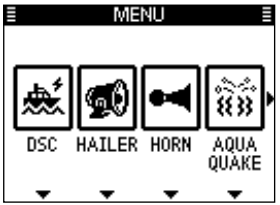
- ➥ 運用チャンネルやMENU項目を選択するとき、または設定を変更するときに押します。(☞P9、P12、P76)
- ➥ スキャン中にスキャン対象チャンネルを確認するときやスキャンの方向を変更するとき、またスキャンを手動で再スタートするときに押します。(☞P15)

❺CLEARキー [CLEAR]

直前の操作を取り消したり、操作中のモードを終了したりするときに押します。(☞P11、P76)

❻MENUキー [MENU]

MENU画面を選択、または解除するときに押します。(☞P76)



❼ダイヤル/電源スイッチ [PWR]

- ➥ 長く(約1秒)押すと電源がON、もう一度長く(約1秒)押すと電源がOFFになります。(☞P10)
- ➥ 運用チャンネルやMENU項目を選択するとき、または設定を変更するときに回します。(☞P9、P76)
- ➥ 入力内容や選択した項目を確定するときに押します。

❽チャンネル16/コールチャンネルキー [16/C](☞P8)
- ➥ 短く押すと、チャンネル16になります。
- ➥ 長く(約1秒)押すと、コールチャンネルになります。
  コールチャンネル選択時、「CALL」表示が点灯します。

❾SQL(スケルチ)ツマミ [SQL](☞P10)
スケルチを調整するツマミです。

❿ソフトキー
次の機能をメニュー画面で割り当てられます。
(☞P7、P78)

スキャン [SCAN] (☞P15)
押すごとに、ノーマルスキャン、またはプライオリティースキャンが開始/解除します。

デュアルワッチ/トライワッチ [DW] (☞P16)
押すごとに、デュアルワッチ、またはトライワッチが開始/解除します。

チャンネル/ウェザーチャンネルキー [CH/WX] (☞P9)
押すごとに、通常チャンネルとウェザーチャンネルが切り替わります。

送信出力キー [HI/LO] (☞P10)
押すごとに、Highパワー(25W)/Lowパワー(1W)と送信出力が切り替わります。
※チャンネルによっては、Lowパワー(1W)しか設定できません。

ボイスレコーダー [PLAY] (☞P70)
録音した内容を再生するときに押します。

RXヘイラー [RX HI] (☞P72)
押すごとに、RXヘイラー機能がON/OFFします。

アッテネーター機能 [LO/DX] (☞P10)
押すごとに、アッテネーター機能がON/OFFします。
アッテネーター機能ON時、「LOC」表示が点灯します。

スキャン対象チャンネル [★] (☞P15)
- ➥ 短く押すごとに、表示されているチャンネルをスキャン対象にしたり、解除したりします。
- ➥ 長く(約3秒)押すごとに、すべてのチャンネルをスキャン対象にしたり、解除したりします。

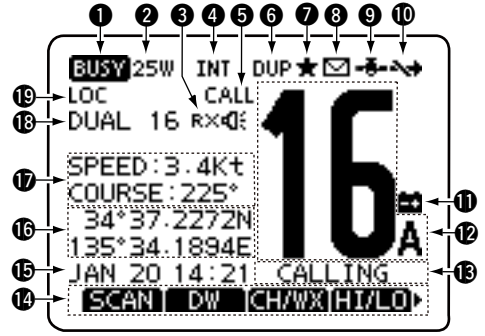
チャンネル名称 [NAME] (☞P11)
チャンネルの名称を編集するときに押します。

バックライト [BKLT] (☞P13)
表示部やキーのバックライトを調整するときに押します。

ログ機能 [LOG] (☞P62)
DSCコールメニューの「RCVD CALL LOG」画面を選択するときに押します。

⓫音量ツマミ [VOL](☞P10)
受信音量を調整するツマミです。

■ 表示部



❶ 送受信表示（☞P10）
- ➥ 信号受信中やスケルチが開いているときは、「BUSY」表示が点灯します。
- ➥ 送信中は、「TX」表示が点灯します。

❷ 送信出力表示（☞P10）
- ➥ Highパワー選択時、「25W」表示が点灯します。
- ➥ Lowパワー選択時、「1W」表示が点灯します。

❸ RXヘイラー（☞P72）
RXヘイラー機能動作時、「RX」表示が点灯します。

❹ チャンネルグループ表示（☞P9）
国際チャンネル選択時は「INT」表示、ウェザーチャンネル選択時は「WX」表示が点灯します。

❺ コールチャンネル表示（☞P8）
コールチャンネル選択時、「CALL」表示が点灯します。

❻ デュプレックス表示（☞P9）
デュプレックスチャンネル選択時、「DUP」表示が点灯します。

❼ スキャン対象チャンネル表示（☞P15）
スキャン対象チャンネル選択時、「★」表示が点灯します。

❽ 呼び出し表示（☞P62）
未読のDSC呼び出しがあるときに「✉」表示が点滅します。

❾ GPS情報表示
GPS受信機接続時、位置情報を取得すると、「」表示が点灯します。
位置情報を取得できない場合は、「」表示が点滅します。

❿ チャンネル16スイッチ表示（☞P66）
DSC設定の「CH 16 SWITCH」をOFFにしているとき、「」表示が点灯します。

⓫ バッテリー電圧低下表示
バッテリーの電圧が約10V以下になると、「」表示が点滅します。

⓬ チャンネル番号表示
選択された運用中のチャンネル番号を表示します。

⓭ チャンネル名称表示
設定されたチャンネル名称を表示します。（☞P11）

⓮ 機能表示
ソフトキーに設定された機能を表示します。

⓯タイムゾーン表示

➥GPS受信機接続時、現在の時刻を表示します。
- GPS受信機から時刻情報を取得できない場合、「??」表示が約2秒ごとに点滅して、約23.5時間経過すると「NO TIME」表示が点灯します。
- 手動で時刻情報を入力(☞P20)した場合、約4時間経過すると「??」表示が約2秒ごとに点滅して、入力後約23.5時間経過すると「NO TIME」表示が点灯します。

➥UTC(協定世界時)との時差を設定(☞P79)すると、「LOCAL」表示が点灯します。

➥手動で時刻情報を入力すると、「MNL」表示が点灯します。

➥GPS受信機からのデータに、GGA、GLL、またはGNSセンテンスが含まれている場合、「UTC」表示が点灯します。

➥GPS受信機からのデータに、RMCセンテンスが含まれている場合、「UTC」日付情報表示が点灯します。

➥GPS受信機を接続していない状態で、時刻情報が入力されていないと、「NO TIME」表示が点灯します。

⓰位置情報表示

➥位置情報を表示します。
- GPS受信機から位置情報を取得できない場合、「??」表示が約2秒ごとに点滅します。
  ※最後に取得した位置情報を約23.5時間保持します。約23.5時間経過後は、「NO POSITION」表示が点灯します。
- 手動で位置情報を入力した場合、約4時間経過すると「??」表示が約2秒ごとに点滅し、入力後約23.5時間経過すると「NO POSITION」表示が点灯します。

➥GPS受信機を接続していない状態で、位置情報が入力されていないと、「NO POSITION」表示が点灯します。

⓱進行方向/速度表示

GPS受信機接続時、自船の進行方向と速度を表示します。
- GPS受信機からのデータに、RMCセンテンスが含まれている場合、進行方向と速度を表示します。
  ※GGA、GLL、GNSのいずれか1つと、VTGセンテンスが含まれている場合でも進行方向と速度を表示します。

⓲スキャン表示

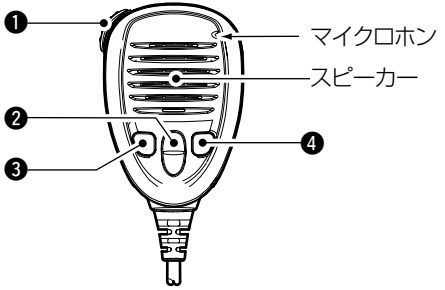
➥プライオリティースキャン動作時は「SCAN 16」表示、ノーマルスキャン動作時は「SCAN」表示が点灯します。(☞P15)

➥デュワルワッチ動作時は「DUAL 16」表示、トライワッチ動作時は「TRI 16」表示が点灯します。(☞P16)

⓳LOCAL表示(☞P10)

アッテネーター機能動作時、「LOC」表示が点灯します。

■ マイクロホン



❶PTTスイッチ [PTT]

押しているあいだは送信状態になり、はなすと受信状態に戻ります。(☞P10)

❷上下/チャンネル選択キー [▲]/[▼]

- ➥ スキャン中にスキャン対象チャンネルを確認するときやスキャンの方向を変更するとき、またスキャンを手動で再スタートするときに押します。(☞P15)
- ➥ 「FAV ON MIC」が「OFF」のときは、マイクロホンでもすべてのチャンネルを選択できます。(☞P84)

❸送信出力キー [H/L]

- ➥ 押すごとに、Highパワー(25W)/Lowパワー(1W)と送信出力が切り替わります。
  - チャンネルによっては、Lowパワー(1W)に固定されています。
- ➥ [H/L]を押しながら無線機の電源を入れると、マイクロホンのロック機能をON/OFFします。(☞P12)

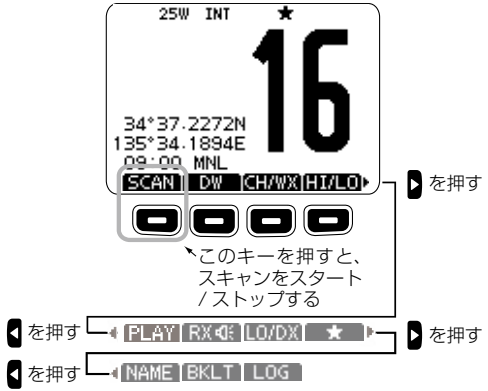
  ※ロック機能動作中でも、[PTT]スイッチは操作できます。

❹チャンネル16/コールチャンネルキー [16/C](☞P8)

- ➥ 短く押すと、チャンネル16になります。
- ➥ 長く(約1秒)押すと、コールチャンネルになります。
  コールチャンネル選択時、「CALL」表示が点灯します。

■ソフトキー

本製品のソフトキーには、さまざまな機能を割り当てることができます。



※機能表示の端に◀（または▶）が表示されているとき、[◀]、または[▶]を押すと、ソフトキーの機能が切り替わります。
※初期設定では、上図のようにソフトキーに割り当てた４種類の機能が１つのグループとして切り替わります。
※表示される機能は、設定により異なります。

■ チャンネル選択

◇ チャンネル 16

チャンネル16は、遭難および安全信号チャンネルです。
このチャンネルは、ほかの局との初期通信を確立するため、また緊急連絡に使用されます。
チャンネル16は、デュアルワッチやトライワッチの対象となっています。
チャンネル16は、デュアルワッチやトライワッチ動作時にモニターされます。
待機中もチャンネル16をモニターしなければなりません。

➥ [16/C]を短く押すと、チャンネル 16になります。
➥ [CH/WX]を押して、チャンネル 16を選択する前の状態へ戻します。
[▲](CH)、または[▼](CH)を押して運用するチャンネルを選択します。

◇ コールチャンネル

チャンネル16とは別に、仲間同士との連絡などに使用するコールチャンネルを設定できます。
このコールチャンネルは、トライワッチの対象となります。
すばやく呼び出しできるよう、国際チャンネルグループで最もよく使用するチャンネルを設定できます。

➥ [16/C]を長く（約 1 秒）押して、コールチャンネル（初期設定: チャンネル 16）を選択します。
● 「CALL」表示が点灯し、コールチャンネル番号を表示します。

➥ [CH/WX]を押して、コールチャンネルを選択する前の状態へ戻します。
[▲](CH)、または[▼](CH)を押して運用するチャンネルを選択します。

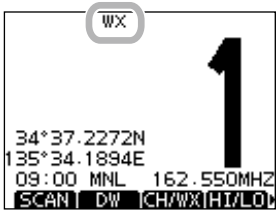
◇ 国際チャンネル

本製品で使用できる国際チャンネル数は、57チャンネルです。

① [CH/WX]を押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。
- 国際チャンネルグループ選択時、「INT」表示が点灯します。
- ウェザーチャンネル選択時、「WX」表示が点灯します。
- ウェザーアラート機能ON時、「WX ⛈」表示が点灯します。

② ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、チャンネルを選択します。
- デュプレックスチャンネルを選択したときは、「DUP」表示が点灯します。

国際チャンネル(通常画面)

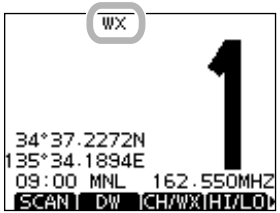


ウェザーチャンネル

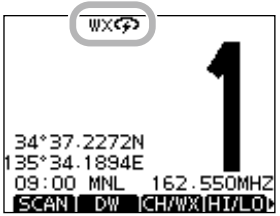
ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて、NOAA(米国海洋大気庁)放送からのウェザーチャンネルを受信するために使用します。
※日本の海域および近海では受信できません。

ウェザーアラート機能ON時は、受信しているウェザーチャンネルで気象警報放送がはじまると、「WX ⛈」表示を点滅させて、重要な気象警報を受信したことを通知します。
本製品のウェザーアラート機能には、「ON」または「ON with WX SCAN」があり、MENU画面で設定できます。
設定により動作が異なりますので、詳しくは82ページをご覧ください。



ウェザーアラート機能OFF時



ウェザーアラート機能ON時

3 基本操作

■ 受信と送信

ご注意
本製品にアンテナを接続していないときは、絶対に送信しないでください。

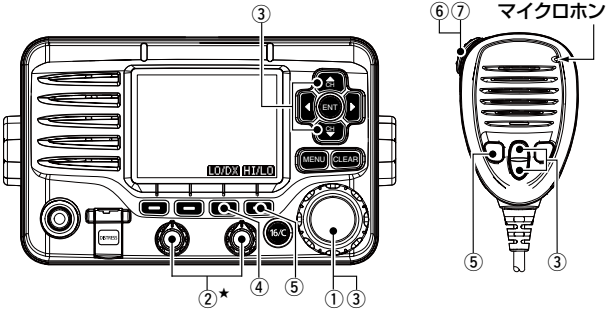
① [PWR](DIAL)を押して、電源をONにします。
② 音量レベルとスケルチレベルを設定します。
➥ あらかじめ[SQL]を反時計方向に回し切っておきます。
➥ [VOL]を回して、音量レベルを調整します。
➥ ノイズが消えるまで、[SQL]を時計方向に回します。
③ ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、チャンネルを選択します。
- 信号を受信すると、「BUSY」表示が点灯し、スピーカーから音声が出力されます。
- このとき、[VOL]で音量レベルを再調整します。

④ 受信信号の強さに応じて、[LO/DX]を短く押して、アッテネーター機能をON/OFFします。
- アッテネーター機能ON時、「LOC」表示が点灯します。

⑤ 通信する相手局との距離に応じて、[HI/LO]、またはマイクロホンの[H/L]キーを短く押して、送信出力を切り替えます。
- 送信出力を切り替えると、「25W」(Highパワー)表示または「1W」(Lowパワー)表示が点灯します。
- 近距離通信の場合にはLowパワー(1W)、長距離通信の場合にはHighパワー(25W)を選択してください。
- チャンネルによっては、Lowパワー(1W)しか設定できません。

⑥ マイクロホンの[PTT]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって話します。
- 送信状態になり、「TX」表示が点灯します。
- チャンネル70では送信できません。

⑦ [PTT]スイッチをはなすと、受信状態に戻ります。



※上図はイメージのため、実際の画面とは異なります。
表示された機能に対応するソフトキーを確認して、操作してください。(☞P7)
★左側が音量レベル、右側がスケルチレベルを設定するツマミです。

マイクロホンに向かって話すときは
マイクロホンと口元を約5cmはなし、普通に会話する大きさの声で話してください。
マイクロホンを口元に近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、めいりょう度が悪くなることがありますのでご注意ください。

■ チャンネル名称の設定

すべてのチャンネルに、英字(大文字)、数字、記号(! " # $ % & ' ( ) * + , - . / [\ ] ^ _ : ; < = > ?)およびスペースを使用して、最大10文字のチャンネル名称を設定できます。

① 設定するチャンネルを選択します。
② [NAME]を押して、チャンネル名称の入力画面を表示させます。
- 1桁目のカーソルが点灯します。

③ 下記に示す要領で、チャンネル名称を入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、入力する文字を選択します。
- ダイヤル、または[ENT]を押して入力します。
- [123]、[! $?]、または[ABC]を押して、入力する文字種を切り替えます。
- カーソルを移動させるときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択してから[ENT]を押します。
- 「SPACE」を選択してから[ENT]を押すと、スペースを挿入します。
- 「DELETE」を選択してから[ENT]を押すと、選択している文字を削除します。
- [CLEAR]を押すと、設定を中止して、手順①の画面に戻ります。

④ 手順③を繰り返し、チャンネル名称を入力します。

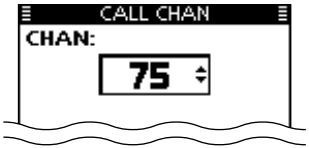
⑤ [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、「FINISH」を選択します。ダイヤル、または[ENT]を押すと、入力した内容が設定されて、手順①の画面に戻ります。

■ コールチャンネルの設定

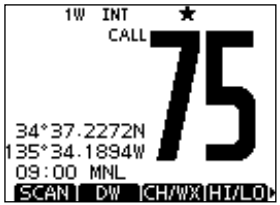
出荷時、コールチャンネルは、チャンネル16に設定されています。すばやく呼び出しができるよう、よく運用するチャンネルを設定できます。

① [MENU]を押します。
② ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「RADIO SET」アイコン(右図)を表示させます。
③ [RADIO SET]を押します。
● 「RADIO SETTINGS」画面を表示します。

④ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して「CALL CHAN」を選択してから、[ENT]を押します。
⑤ ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作してコールチャンネルに設定したいチャンネルを選択します。



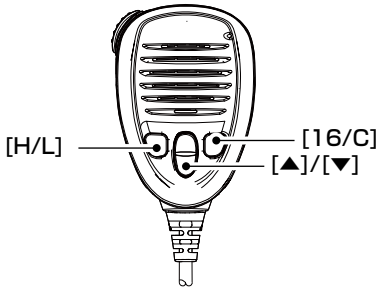
⑥ [ENT] を押して、コールチャンネルを設定します。



■ マイクロホンロック機能

不用意にマイクロホンの[▲]/[▼]や[H/L]キーに触れても、チャンネルや運用状態が変わらないようにロックする機能です。

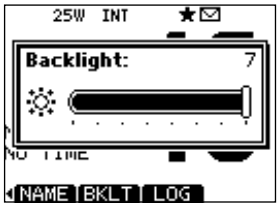
➥マイクロホンの[H/L]キーを押しながら本製品の電源を入れるごとに、マイクロホンによる操作のロックをON/OFFします。
※マイクロホンによる操作のロック状態(ON/OFF)は、画面に表示されません。



■ バックライト機能

バックライトを調整すると、暗い場所などでも表示部や各キーが見やすくなります。

① [BKLT]を押して、バックライトの調整画面を表示させます。
② ダイヤルを回して、表示部と各キーのバックライトを調整します。
③ [ENT]を押すと、設定して通常画面に戻ります。
- [ENT]を押さなくても、約5秒後に自動的に通常画面に戻ります。

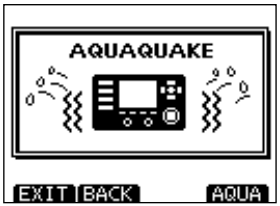


■ アクアクェイク機能

スピーカー部分に溜まった水をスピーカーの振動により排出する機能です。スピーカー部分の浸水による音のこもりや音量低下を解消することができます。

① [MENU]を押します。
② ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「AQUA QUAKE」アイコン(右図)を表示させます。
③ [AQUA QUAKE]を押します。
- 「AQUAQUAKE」画面を表示します。

④ [AQUA]を長く押します。
- 押しているあいだは、音量の設定レベルに関わらず、排水のため低いビープ音が鳴りつづけます。
- アクアクェイク機能動作中は、[DISTRESS]以外のキー操作が無効となります。
- [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。



アクアクェイク機能画面

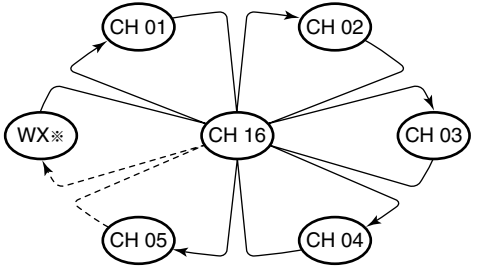
4 スキャンの操作

■ スキャンについて

スキャンは、広い周波数範囲にわたって信号をすばやく探し出すのに効果的な方法です。
本製品のスキャンには、プライオリティースキャンとノーマルスキャンがあります。
ウェザーアラート機能ON時は、前回選択したウェザーチャンネルをスキャン中にモニターできます。
スキャン操作の前に、スキャンさせたいチャンネルを、スキャン対象に設定します。（☞P15）

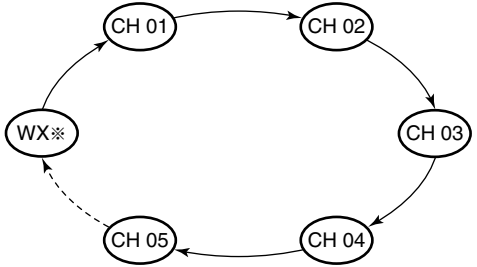
デジタル通信など、常に電波が送信されていてスキャンを停止させる原因になるチャンネルは、スキャン対象を解除します。
詳しくは、15ページをご覧ください。
※スキャンタイプとスキャン再スタートタイマーは、MENU画面で設定します。（☞P81、P82）

プライオリティースキャン



※前回選択したウェザーチャンネル(ウェザーアラート機能ON時)
プライオリティースキャンは、チャンネル16をモニターしながら、すべてのタグチャンネルを順にスキャンします。
チャンネル16で信号を検出すると、信号が消えるまでスキャンを一時停止します。
チャンネル16以外のチャンネルで信号が検出されると、その信号が消えるまでスキャンはデュアルワッチになります。

ノーマルスキャン



※前回選択したウェザーチャンネル(ウェザーアラート機能ON時)
ノーマルスキャンは、プライオリティースキャンと同じように、すべてのタグチャンネルを順にスキャンします。
ただし、チャンネル16をスキャン対象に設定しないと、チャンネル16がスキャンされませんのでご注意ください。

■ スキャン対象の設定

本製品のスキャン機能は、スキャン対象を設定したチャンネルだけをスキャンします。
スキャンする必要のないチャンネルのスキャン対象を解除すると、スキャンの対象からはずせます。
※出荷時、すべてのチャンネルにスキャン対象が設定されています。

① ダイヤルを回して、スキャン対象からはずすチャンネルを選択します。
② [★] を押して、スキャン対象を解除します。
- 「★」表示が消灯します。
- 選択したチャンネルをスキャンの対象にするときは、手順②の操作を繰り返します。スキャンの対象になると、「★」表示が点灯します。

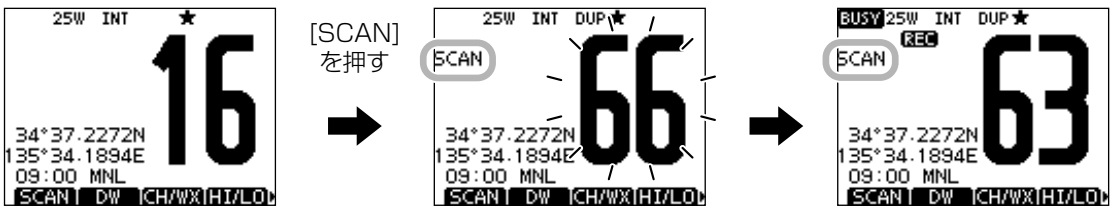
スキャン対象の一括設定について
[★]を長く(約3秒)押すごとに、長いビープ音のあと短いビープ音が2回鳴り、すべてのチャンネルにスキャン対象を設定(または解除)します。

■ スキャン操作のしかた

① スキャン対象を設定します。
② スキャンの前に、スケルチが閉じているか確認します。
③ [SCAN] を押すと、スキャンがスタートします。
- プライオリティースキャン動作時は「SCAN 16」表示、ノーマルスキャン動作時は「SCAN」表示が点灯します。
- 信号を受信すると、MENU画面の設定により、その信号が消えるまでスキャンを一時停止する、または5秒間の停止後スキャンを再スタートします。
  ※プライオリティースキャン中は、チャンネル16をモニターします。
- ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作すると、タグを設定しているチャンネルを確認したり、スキャンの方向切り替えや信号を受信して一時停止しているときに手動でスキャンを再スタートしたりできます。
- プライオリティースキャン中、チャンネル16で信号を受信すると、「16」表示が点滅してビープ音が鳴ります。

④ [SCAN] を押すと、スキャンを解除します。
- [CLEAR]を押してもスキャンを解除できます。

【例】ノーマルスキャンの場合



5 デュアルワッチ/トライワッチについて

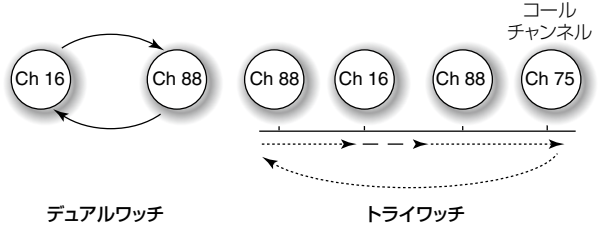
■ 概要について

デュアルワッチ/トライワッチは、別のチャンネルを待ち受けながら、定期的にチャンネル16をモニターできる機能です。

- デュアルワッチは、チャンネル16以外のチャンネルを待ち受けながら、チャンネル16をモニターします。
- トライワッチは、別のチャンネルを待ち受けながら、チャンネル16とコールチャンネルをモニターします。

※出荷時のコールチャンネルは、チャンネル16に設定されていますので、デュアルワッチと同じ動作になります。

デュアルワッチ/トライワッチの動作例



※例は、コールチャンネルをチャンネル75にした場合です。

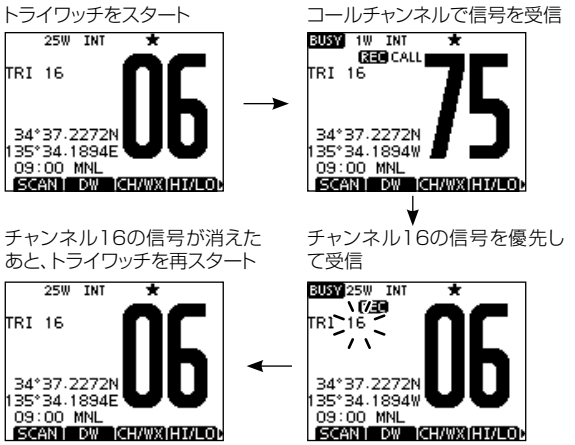
- チャンネル16で信号を受信した場合は、その信号が消えるまでチャンネル16のデュアルワッチ/トライワッチは一時停止します。
- トライワッチ中にコールチャンネルで信号を受信した場合は、その信号が消えるまでコールチャンネルとチャンネル16のデュアルワッチ動作になります。
- デュアルワッチ/トライワッチ中に選択したチャンネルで送信する場合は、[PTT]スイッチを押しつづけてください。

■ 操作について

① 「RADIO SETTINGS」画面(☞P82)で、デュアルワッチ、またはトライワッチを選択します。(初期設定：Dualwatch)
② ダイヤルを回して、チャンネルを選択します。
③ [DW]を押すと、デュアルワッチ、またはトライワッチをスタートします。
- デュワルワッチ動作時は「DUAL 16」表示、トライワッチ動作時は「TRI 16」表示が点灯します。
- チャンネル16で信号を受信したときは、ビープ音が鳴ります。

④ [DW]を押すと、デュアルワッチ、またはトライワッチを解除します。

【例】国際チャンネル06の場合



■ DSC ID（相手局）の設定

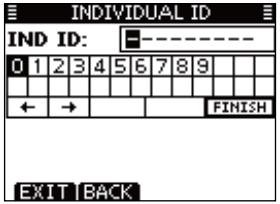
◇ 個別呼び出し用IDの設定

相手局のDSC ID（個別/グループ呼び出し用）に任意のネーム（10文字以内）を付けて、100件まで登録できます。

① DSC設定メニューの「INDIVIDUAL ID」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Individual ID〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② [ADD]を押します。
- 「INDIVIDUAL ID」設定画面が表示されます。



③ 下記の操作で、任意の個別呼び出し用IDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」、2桁目に「0」以外を指定すると、グループ呼び出し用IDになるため、エラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。

④ 手順③を繰り返して、全9桁を入力します。
9桁入力後に、[ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- IDネームの設定画面が表示されます。

⑥ 下記の操作で、最大 10 文字のネームを入力してください。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の文字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- [123]、[! $?]、[ABC]を押して入力する文字種を選択します。

⑦ [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して「FINISH」を選択したあと、[ENT]、またはダイヤルを押すと、ネームを設定します。
- 「INDIVIDUAL ID」一覧画面が表示されます。

⑧ [MENU] を押して、メニュー画面を解除します。

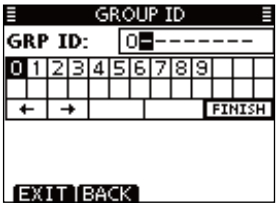
■DSC ID（相手局）の設定（つづき）

◇ グループ呼び出し用IDの設定

① DSC設定メニューの「GROUP ID」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Group ID〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

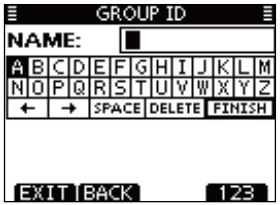
② [ADD]を押します。
- 「GROUP ID」設定画面が表示されます。



③ 下記の操作で、任意のグループ呼び出し用IDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目は、グループID用に「0」で固定されています。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。

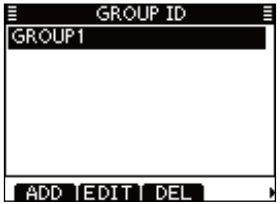
④ 手順③を繰り返して、全9桁を入力します。

⑤ 9桁入力後に、[ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- グループIDネームの設定画面が表示されます。



⑥ 下記の操作で、最大 10 文字のネームを入力してください。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の文字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- [123]、[!$?]、[ABC]を押して入力する文字種を選択します。

⑦ [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して「FINISH」を選択したあと、[ENT]、またはダイヤルを押すと、ネームを設定します。
- 「GROUP ID」一覧画面が表示されます。



⑧ [MENU] を押して、メニュー画面を解除します。

◇ 個別呼び出し用 / グループ呼び出し用 IDの削除

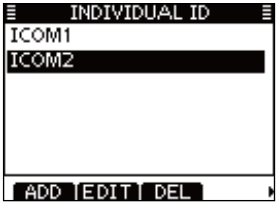
① DSC設定メニューの「INDIVIDUAL ID」、または「GROUP ID」を選択します。

DSC SET

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Individual ID〉/〈Group ID〉([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

- IDが設定されていないときは、「No ID」を表示します。この場合は、[MENU]を押してメニュー画面を解除してください。

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のIDネームを選択してから[DEL]を押します。



③ [OK]を押すと、IDを削除して「INDIVIDUAL ID」、または「GROUP ID」一覧画面に戻ります。

- [CANCEL]を押すと、削除を中止します。

④ [MENU]を押して、メニュー画面を解除します。

■ 位置情報と時刻の設定

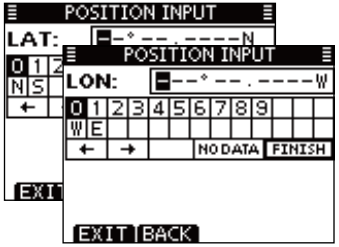
Distressコール(遭難信号)には、自局の位置情報と時刻情報が必要です。
GPS受信機(NMEA0183 ver. 2.0以降)を接続していないときは、手動で自局の位置情報と時刻情報を入力してください。
GPS受信機を接続しているときは、自動的に現在の位置情報と時刻が遭難信号に含まれます。

- GPS受信機を接続しているときは、手動入力できません。
- 手動で入力された位置情報と時刻情報は、約23.5時間維持されます。

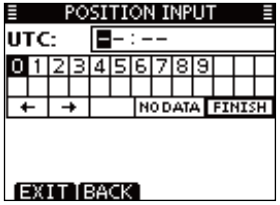
① DSC設定メニューの「POSITION INPUT」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Position Input〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤルと[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して、緯度、経度情報を入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して任意の数字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 北緯を入力するときは「N」、南緯を入力するときは「S」を選択します。
- 西経を入力するときは「W」、東経を入力するときは「E」を選択します。



③ 位置情報を入力したあと、[ENT]を押して登録します。
④ UTC(世界協定時)時刻設定画面が表示されます。
下記の操作で、UTC時刻を入力してください。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。



⑤ [ENT]、またはダイヤルを押すと、位置情報と時刻を設定します。
- DSC設定メニューに戻ります。

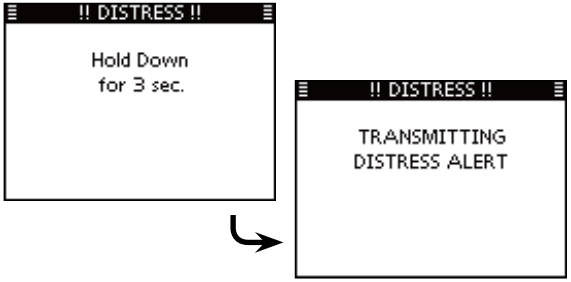
■ Distressコール（遭難信号）

Distressコール（遭難信号）は、船舶の責任者（船長）の判断により、船舶または人が遭難して、救助が必要な非常時に送信する信号です。

Distressコール（遭難信号）は、船舶、または人が遭難していない場合には使用しないでください。救助が必要な非常時だけ使用できます。

◇ 簡易呼び出し

① 保護カバーを上げて、[DISTRESS]を長く（約3秒）押します。
- [DISTRESS]を押しているあいだ、カウントダウンビープが鳴り、表示部とキーのバックライトが点滅します。
- チャンネル70を自動的に選択し、Distressコール（遭難信号）を送信します。



② Distressコール（遭難信号）を送信したあと、受信証（ACK）待ち状態になります。
- Distressコール（遭難信号）は、3.5分～4.5分間隔で自動的に繰り返し送信されます。繰り返し送信は、受信証（ACK）を受信するか、Distressキャンセルコールを送信するまで繰り返されます。（☞P24）
- [RESEND]を押すと、手動でDistressコールを繰り返し送信します。
- [◀]、または[▶]を押してから[INFO]を押すと、送信したDistressコールの内容を表示します。
- [◀]、または[▶]を押してから[PAUSE]を押すと、繰り返し送信を一時停止します。[RESUME COUNTDOWN]を押すと、再開します。

③ 受信証（ACK）を受信したら、[ALARM OFF]を押してから、マイクロホンで応答します。

Distressコール（遭難信号）には、以下の情報が含まれています。（初期設定値）
- 遭難の種類： Undesignated distress（その他の遭難）
- 位置情報： GPS受信機から取得した最新の位置情報、または手動で入力した位置情報を約23.5時間、あるいは電源を切るまで保持します。

■Distressコール（遭難信号）（つづき）

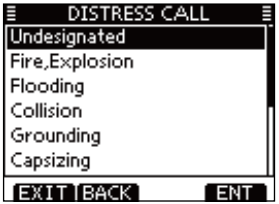
◇ 通常呼び出し

Distressコール（遭難信号）には、遭難の種類を含ませなければなりません。

① DSCコールメニューの「DISTRESS CALL」を選択します。

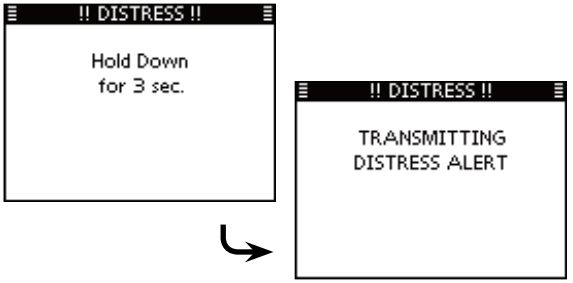
〈MENU〉→〈DSC〉→〈Distress Call〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して遭難の種類を選択したあと、ダイヤル、または[ENT]を押します。
- 本製品で選択できる遭難の種類は、下記のとおりです。
  - ・Undesignated（その他の遭難）
  - ・Explosion（火災・爆発）　・Flooding（浸水）
  - ・Collision（衝突）　・Grounding（座礁）
  - ・Capsizing（転覆）　・Sinking（沈没）
  - ・Adrift（操船不能/漂流）　・Piracy（海賊の攻撃）
  - ・Abandoning（船体の放棄）・MOB（落水）
- 選択した遭難の種類は、選択後、約30秒間保持されます。



③ Distressコール（遭難信号）の確認画面が表示されます。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作すると、画面を上下にスクロールして、隠れている内容を表示できます。

④ 保護カバーを上げ、[DISTRESS]を長く（約3秒）押して、Distressコール（遭難信号）を送信します。
- [DISTRESS]を押しているあいだ、カウントダウンビープが鳴り、表示部とキーのバックライトが点滅します。
- 選択した遭難の種類は、約30秒間保持されます。

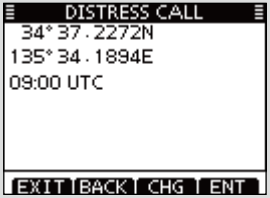


⑤ Distressコール(遭難信号)を送信したあと、受信証(ACK)待ち状態になります。
- Distressコール(遭難信号)は、3.5分～4.5分間隔で自動的に繰り返し送信されます。繰り返し送信は、受信証(ACK)を受信するか、Distressキャンセルコールを送信するまで繰り返されます。(☞P24)
- [RESEND]を押すと、手動でDistressコールを繰り返し送信します。
- [◀]、または[▶]を押してから[INFO]を押すと、送信したDistressコールの内容を表示します。
- [◀]、または[▶]を押してから[PAUSE]を押すと、繰り返し送信を一時停止します。[RESUME COUNTDOWN]を押すと、再開します。

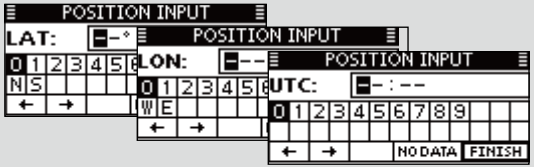
⑥ 受信証(ACK)を受信したら、[ALARM OFF]を押してから、マイクロホンで応答します。

Distressコール(遭難信号)には、以下の情報が含まれています。
- 遭難の種類： 手順②で選択した遭難の種類
- 位置情報： GPS受信機から取得した最新の位置情報、または手動で入力した位置情報を約23.5時間、あるいは電源を切るまで保持します。

GPS受信機を接続せず、位置情報と時刻情報を手動で設定してDistressコール(遭難信号)を送信するときは、遭難の種類を選択後に以下の画面を表示します。
この場合、以下の手順で、緯度·経度と時刻を編集できます。



[CHG]を押して、緯度·経度と時刻を編集します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 北緯を入力するときは「N」、南緯を入力するときは「S」を選択します。
- 西経を入力するときは「W」、東経を入力するときは「E」を選択します。



■Distressコール（遭難信号）（つづき）

◇Distressキャンセルコール

送信したDistressコール（遭難信号）を取り消すときに送信します。

① 受信証（ACK）待ち状態のあいだに、[CANCEL]を押します。

② [CONTINUE]を押します。
- [BACK]を押すと、受信証（ACK）待ち状態に戻ります。

③ [FINISH]を押します。
- [EXIT]を押すと、受信証（ACK）待ち状態に戻ります。

④ Distressキャンセルコールを送信します。

⑤ チャンネル16を自動的に選択します。
- マイクロホンから、状況をアナウンスします。
- アナウンス後、[EXIT]を押して通常画面に戻します。

■ DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

DSC機能を正しく動作させるために、「CH70 SQL Level」設定を確認してください。（☞P68）

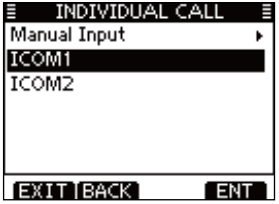
◇ 個別呼び出しの送信

個別呼び出し機能では、特定の船舶だけにDSCコール（デジタル選択呼び出し）を送信できます。

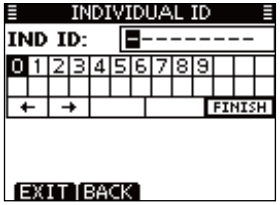
① DSCコールメニューの「INDIVIDUAL CALL」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Individual Call〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- 個別呼び出し用のIDは、事前に登録できます。（☞P17）
- 「Manual Input」を選択したときは、呼び出したい任意の船舶局のID（9桁）を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意の個別呼び出し用IDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」、2桁目に「0」以外を指定すると、グループ呼び出し用IDになるため、エラービープが鳴ります。
  9桁のグループ呼び出し用IDを入力した場合は、[ENT]、またはダイヤルを押したときにエラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



ご注意：
手順②で海岸局を選択した場合、DSCコール後の音声通話チャンネルは海岸局から指定されます。
そのため、次ページの手順③の操作は不要となりますので、手順④を操作してください。

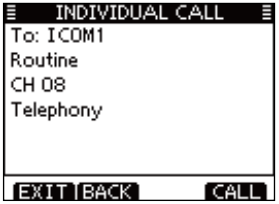
☞次ページにつづく

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

◇ 個別呼び出しの送信（つづき）

③ ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のIntershipチャンネル（船舶間通話チャンネル）を選択し、[ENT]を押します。
- Intership CH（船舶間通話チャンネル）は、あらかじめ推奨する順番で設定されています。

④ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。



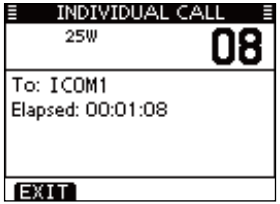
⑤ [CALL]を押して、個別呼び出しを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑥ 受信証（ACK）を受信するまで、チャンネル70で待機します。

⑦「Able to comply」で受信証（ACK）を受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。

[ALARM OFF]を押してアラームを止めます。このとき、手順③で選択したIntership CH(船舶間通話チャンネル)を同時に選択します。

- 呼び出した船舶局が指定したIntership CH(船舶間通話チャンネル)を使えない場合は、異なるIntership CH(船舶間通話チャンネル)が選択されます。
- マイクロホンで応答します。
  手順⑧に進みます。



「Unable to comply」で受信証(ACK)を受信した場合は、アラームが鳴って以下の画面が表示されます。

[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
そのあと、[EXIT]を押して、通常画面に戻ります。
※メニュー画面を選択する前の状態に戻ります。

⑧ 通話後、[EXIT] を押して通常画面に戻します。

ご参考に
本製品に、別売品のMA-500TRJを接続すると、個別呼び出し用IDを入力することなく、MA-500TRJ上に表示されたAIS船舶局を選択するだけで、個別呼び出しを送信できます。
詳しくは、69ページ、および70ページをご覧ください。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

◇ 個別呼び出しの受信証を送信する

個別呼び出しを受信したときは、表示画面にしたがって操作すると、受信証（応答可、別のチャンネルを指定、または応答不可）をすばやく送信できます。（クイック応答）
また、次のようにメニュー画面から受信証を送信することもできます。（マニュアル応答）

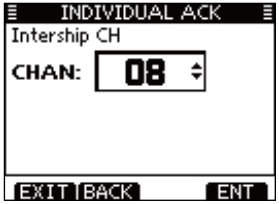
クイック応答：

① 個別呼び出しを受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② [ACK]を押します。

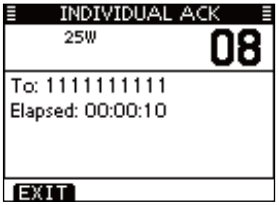
③ 3つの選択肢から1つを選んで[ENT]を押します。

- Able to Comply：
  受信した個別呼び出しで指定されているIntership CH（船舶間通話チャンネル）で通話可能である内容の受信証（ACK）を送信します。
- Unable to Comply：
  通話できない内容で、受信証（ACK）を送信します。
  通話できない内容での受信証（ACK）は、自動で送信できるように設定できます。
  詳しくは、65ページをご覧ください。
- Propose New Channel：
  Intership CH（船舶間通話チャンネル）を指定して、通話可能である内容の受信証（ACK）を送信します。
  個別呼び出しで指定されたIntership CH（船舶間通話チャンネル）で通話できない場合に選択します。
  ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のIntership CH（船舶間通話チャンネル）を選択します。



④ 確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、受信証(ACK)を送信します。

⑤ 以下の画面が表示されます。



⑥ マイクロホンで応答します。
⑦ [EXIT] を押して通常画面に戻します。

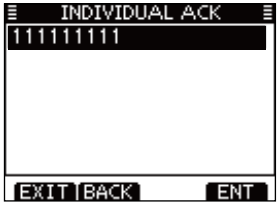
マニュアル応答：

① DSCコールメニューの「INDIVIDUAL ACK」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Individual ACK〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

- 「Individual ACK」は、個別呼び出しを受信したときだけ表示されます。

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意の個別呼び出しID、またはIDネームを選択したあと、[ENT]を押します。



③ 前ページの「クイック応答」で説明している手順③から手順⑦を操作してください。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

◇ グループ呼び出しの送信

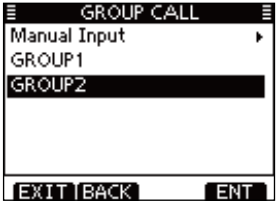
グループ呼び出しは、指定したグループだけにDSC呼び出しを送ります。

① DSCコールメニューの「GROUP CALL」を選択します。

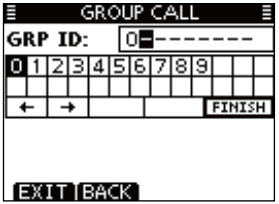
DSC

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Group Call〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意のグループ呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- グループ呼び出し用のIDは、事前に登録できます。(☞P18)
- 「Manual Input」を選択したときは、呼び出したい任意のグループのID(8桁)を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意のグループ呼び出し用IDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- グループ呼び出し用IDを設定するため、1桁目は「0」が指定されています。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



③ ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のIntershipチャンネル(船舶間通話チャンネル)を選択し、[ENT]を押します。
- Intership CH(船舶間通話チャンネル)は、あらかじめ推奨する順番で設定されています。

④ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。

⑤ [CALL]を押して、グループ呼び出しを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑥ グループ呼び出しを送信すると、以下の画面が表示されます。

⑦ マイクロホンから伝えたい情報をアナウンスします。
⑧ アナウンスが終われば、[EXIT] を押して通常画面に戻します。

6 DSCの操作

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

◇ 全船呼び出しの送信

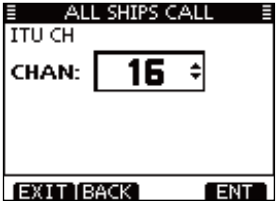
DSC対応の無線機を搭載しているすべての船舶は、聴取チャンネルとして、チャンネル70 を使用しています。
信号の届く範囲内のすべての船舶に情報をアナウンスしたいときは、全船呼び出し機能を使用します。

① DSCコールメニューの「ALL SHIPS CALL」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈All Ships Call〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のカテゴリー（分類）を選択したあと、[ENT]を押します。

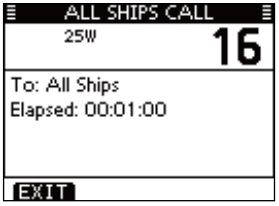
③ ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のTrafficチャンネル（通信チャンネル）を選択し、[ENT]を押します。
- 選択したチャンネルが表示されます。



④ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。

⑤ [CALL]を押して、全船呼び出しを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑥ 全船呼び出しを送信すると、以下の画面が表示されます。



⑦ マイクロホンから伝えたい情報をアナウンスします。
⑧ アナウンスが終われば、[EXIT] を押して通常画面に戻します。

6 DSCの操作

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

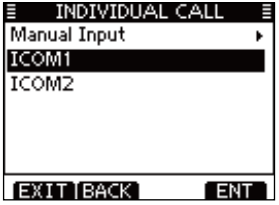
◇ ポジションリクエストの送信

特定の船舶の現在地を知りたいときに、ポジションリクエスト（位置情報の要求）を送信します.

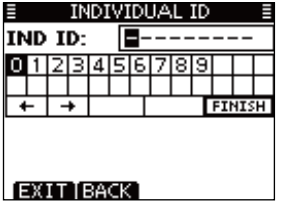
① DSCコールメニューの「POSITION REQUEST」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Position Request〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- ポジションリクエストで使用するIDは、事前に登録できます。(☞P17)
- 「Manual Input」を選択したときは、位置情報を要求したい任意の船舶局のID（9桁）を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意の船舶局のIDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」を指定すると、グループ呼び出し用IDになります。
  9桁のグループ呼び出し用IDを入力した場合は、[ENT]、またはダイヤルを押したときにエラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



③ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。

④ [CALL]を押して、ポジションリクエストを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑤ ポジションリクエストを送信すると、以下の画面が表示されます。

⑥ 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。

⑦ [ALARM OFF] を押してアラームを止めます。
以下の画面が表示されます。

⑧ [EXIT] を押して、通常画面に戻します。

6 DSCの操作

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

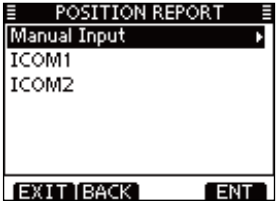
◇ ポジションレポートの送信

自局の位置情報を特定の船舶へ送信するときに、ポジションレポート（位置情報の報告）を送信します。

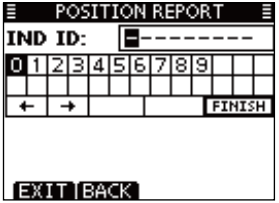
① DSCコールメニューの「POSITION REPORT」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Position Report〉
([MENU]を押す)(アイコン選択)(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

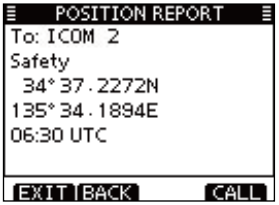
② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- 個別呼び出し用のIDは、事前に登録できます。（☞P17）
- 「Manual Input」を選択したときは、位置情報を送信したい任意の船舶局のID（9桁）を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意の個別呼び出し用IDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」を指定すると、グループ呼び出し用IDになります。
  9桁のグループ呼び出し用IDを入力した場合は、[ENT]、またはダイヤルを押したときにエラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



③ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。



④ [CALL]を押して、ポジションレポートを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑤ ポジションレポートを送信後、自動的に通常画面に戻ります。

GPS受信機を接続せず、位置情報と時刻情報を手動で設定したときは、以下の画面を表示します。
この場合、以下の手順で、緯度·経度と時刻を編集できます。

[CHG]を押して、緯度·経度と時刻を編集します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 北緯を入力するときは「N」、南緯を入力するときは「S」を選択します。
- 西経を入力するときは「W」、東経を入力するときは「E」を選択します。

6 DSCの操作

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

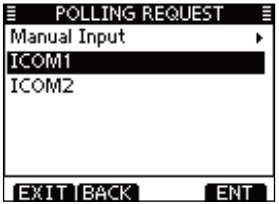
◇ ポーリングリクエストの送信

特定の船舶が通信できるエリア内にいるかどうか知りたいときに、ポーリングリクエスト（送信要求）を送信します。

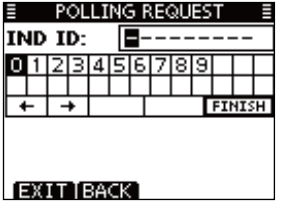
① DSCコールメニューの「POLLING REQUEST」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Polling Request〉
([MENU]を押す)（アイコン選択）（ダイヤルを回して、[ENT]を押す）

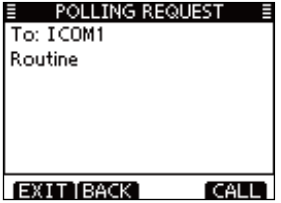
② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- ポーリングリクエストで使用するIDは、事前に登録できます。（☞P17）
- 「Manual Input」を選択したときは、ポーリングリクエストを送りたい任意の船舶局のID（9桁）を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意の船舶局のIDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」を指定すると、グループ呼び出し用IDになります。
  9桁のグループ呼び出し用IDを入力した場合は、[ENT]、またはダイヤルを押したときにエラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



③ 確認画面が表示されます。
呼び出し内容を確認してください。

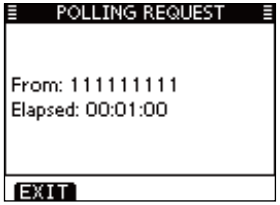


④ [CALL]を押して、ポーリングリクエストを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑤ ポーリングリクエストを送信後、以下の画面が表示されます。

⑥ 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。

⑦ [ALARM OFF] を押してアラームを止めます。
以下の画面が表示されます。



⑧ [EXIT] を押して、通常画面に戻します。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

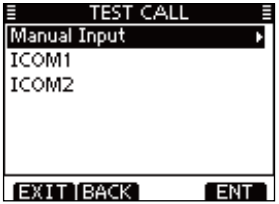
◇テスト呼び出しの送信

DSCチャンネルは、遭難呼び出しと安全呼び出しを優先するチャンネルなので、テスト呼び出しは、できるだけしないください。
テスト呼び出しが必要なときは、それがテスト送信であることを示さなければなりません。
通常、テスト呼び出しは関係する2局間だけで実施し、それ以上の通信を必要としません。

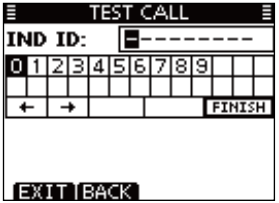
① DSCコールメニューの「TEST CALL」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Test Call〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

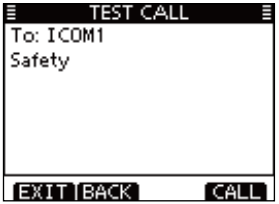
② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
- テスト呼び出しで使用するIDは、事前に登録できます。（☞P17）
- 「Manual Input」を選択したときは、テスト呼び出ししたい任意の個別呼び出しID（9桁）を入力します。



IDの手動入力について：
下記の操作で、任意の個別呼び出しIDを入力します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の番号を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 1桁目に「0」を指定すると、グループ呼び出し用IDになります。
  9桁のグループ呼び出し用IDを入力した場合は、[ENT]、またはダイヤルを押したときにエラービープが鳴ります。
- 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。



③ 確認画面が表示されます。
- 呼び出し内容を確認してください。



④ [CALL]を押して、テスト呼び出しを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。

⑤ テスト呼び出しを送信すると、以下の画面が表示されます。

⑥ 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。

⑦ [ALARM OFF] を押してアラームを止めます。
以下の画面が表示されます。

⑧ [EXIT] を押して、通常画面に戻します。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

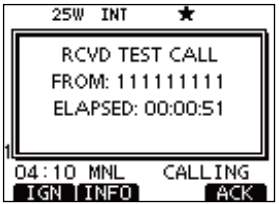
◇ テスト受信証の送信

DSC設定の「TEST ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、テスト呼び出しを受信したときに自動で受信証を送信します。

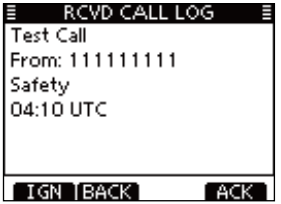
クイック応答：

① テスト呼び出しを受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② [ACK]を押します。



- [INFO]を押すと、テスト呼び出しの内容が確認できます。
[BACK]を押すと、直前の表示に戻ります。
[IGN]を押すと、受信したテスト呼び出しを無視して通常画面に戻ります。



③ テスト受信証（ACK）の確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、受信証（ACK）を送信します。

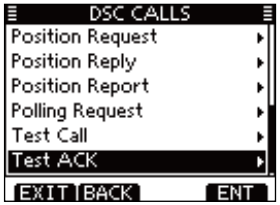
④ 受信証（ACK）を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

マニュアル応答：

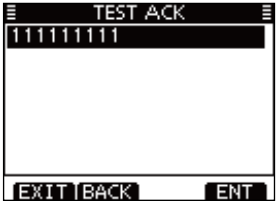
① DSCコールメニューの「TEST ACK」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Test ACK〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

- 「Test ACK」は、テスト呼び出しを受信したときだけ表示されます。



② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、応答するテスト呼び出しを選択した後、[ENT]を押します。



③ テスト受信証(ACK)の確認画面が表示されます。

④ [CALL]を押して、受信証(ACK)を送信します。
受信証(ACK)を送送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

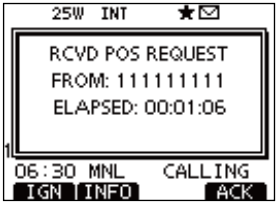
◇ ポジションリクエストリプライの送信

ポジションリクエスト（位置情報の要求）を受信したときは、ポジションリクエストリプライ（位置情報要求への応答）を送信します。DSC設定の「POSITION ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、ポジションリクエスト（位置情報の要求）を受信したときに自動で応答します。

クイック応答：

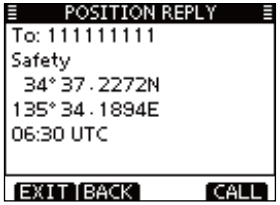
① ポジションリクエストを受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② [ACK]を押します。



- [INFO]を押すと、ポジションリクエストの内容が確認できます。
[BACK]を押すと、直前の表示に戻ります。
[IGN]を押すと、受信したポジションリクエストを無視して通常画面に戻ります。

③ ポジションリクエストリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。



④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

マニュアル応答：

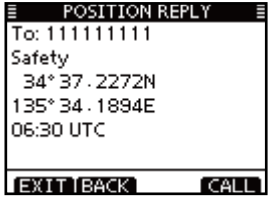
① DSCコールメニューの「POSITION REPLY」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Position Reply〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

- 「Position Reply」は、ポジションリクエストを受信したときだけ表示されます。

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、応答したいポジションリクエストを選択したあと、[ENT]を押します。

③ ポジションリクエストリプライの確認画面が表示されます。[CALL]を押して、応答します。



④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。そのあと、通常画面に戻ります。

GPS受信機を接続せず、位置情報と時刻情報を手動で設定したときは、以下の画面を表示します。
この場合、以下の手順で、緯度·経度と時刻を編集できます。

[CHG]を押して、緯度·経度と時刻を編集します。

- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
- [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
- カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
- 北緯を入力するときは「N」、南緯を入力するときは「S」を選択します。
- 西経を入力するときは「W」、東経を入力するときは「E」を選択します。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

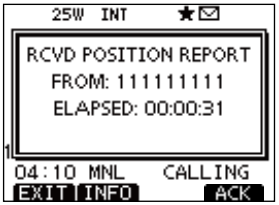
◇ ポジションレポートリプライの送信

ポジションレポート（位置情報の報告）を受信したときは、ポジションレポートリプライ（位置情報報告への応答）を送信します。

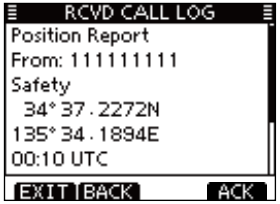
クイック応答：

① ポジションレポートを受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② [ACK]を押します。



- [INFO]を押すと、ポジションレポートの内容が確認できます。
[EXIT]を押すと、受信したポジションレポートを無視して通常画面に戻ります。



③ ポジションレポートリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。

④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

マニュアル応答：

① DSCコールメニューの「REPORT REPLY」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Position Report Reply〉
([MENU]を押す)(アイコン選択)(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

- 「Position Report Reply」は、ポジションレポートを受信したときだけ表示されます。

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、応答したいポジションレポートを選択した後、[ENT]を押します。

③ ポジションレポートリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。

④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

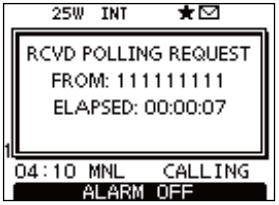
■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の送信

◇ ポーリングリクエストリプライの送信

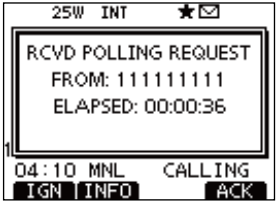
ポーリングリクエスト（送信要求）を受信したときは、ポーリングリクエストリプライ（送信要求への応答）を送信します。
DSC設定の「POSITION ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、ポーリングリクエストを受信したときに自動で応答します。

クイック応答：

① ポーリングリクエストを受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

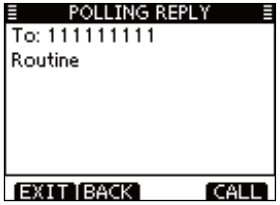


② [ACK]を押します。

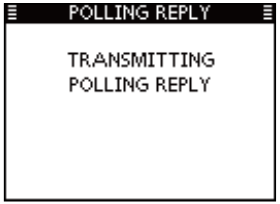


- [INFO]を押すと、ポーリングリクエストの内容が確認できます。
[BACK]を押すと、直前の表示に戻ります。
[IGN]を押すと、受信したポーリングリクエストを無視して通常画面に戻ります。

③ ポーリングリクエストリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。



④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。

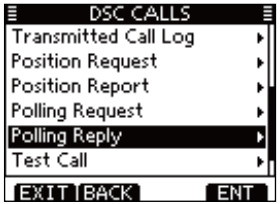


マニュアル応答：

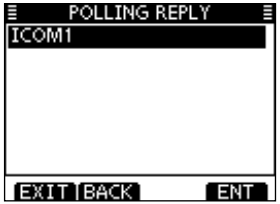
① DSCコールメニューの「POLLING REPLY」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Polling Reply〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

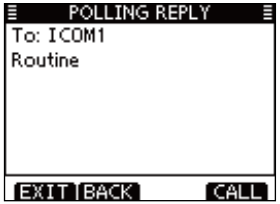
- 「Polling Reply」は、ポーリングリクエストを受信したときだけ表示されます。



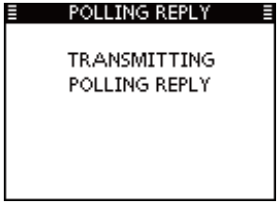
② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、応答したいポーリングリクエストを選択した後、[ENT]を押します。



③ ポーリングリクエストリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。



④ 応答を送信しているあいだは、以下の画面が表示されます。
そのあと、通常画面に戻ります。



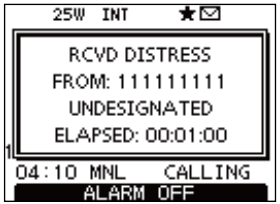
■ DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

◇ Distressコール（遭難信号）の受信

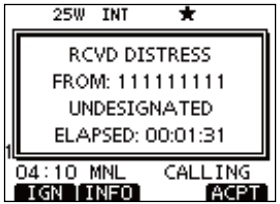
Distressコール（遭難信号）を受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD DISTRESS」が表示され、表示部とキーのバックライトが点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。



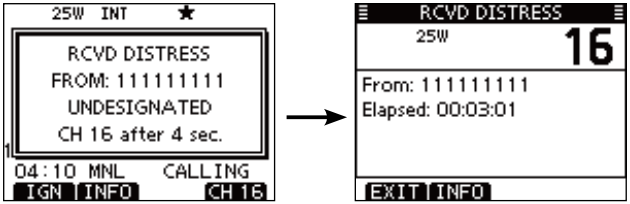
② いずれかのキーを押します。



[IGN]
Distressコール（遭難信号）を無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- [PTT]を押しても、DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したDistressコール（遭難信号）の情報を表示します。
（☞P63）

[ACPT]
Distressコール（遭難信号）を聴取します。
[ACPT]を押したあと、[CH16]を押してチャンネル16を選択します。海岸局から最寄りの船舶に援助を求めることがあるため、チャンネル16を聴取してください。
- [CH16]を押さなくても、約10秒後（初期設定値）にチャンネル16が自動的に選択されます。（☞P66）



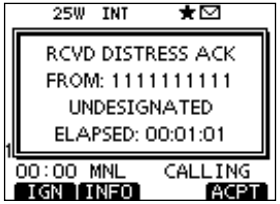
◇ Distress受信証（ACK）の受信

他船へのDistressコール（遭難信号）に対する受信証（ACK）を受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD DISTRESS ACK」が表示され、表示部とキーのバックライトが点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

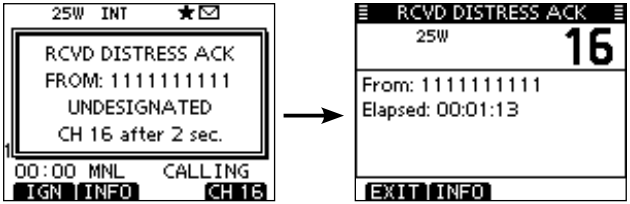
② いずれかのキーを押します。



[IGN]
Distress受信証（ACK）を無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- [PTT]を押しても、DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信した受信証（ACK）の情報を表示します。（☞P63）

[ACPT]
Distressコール（遭難信号）を聴取します。
[ACPT]を押したあと、[CH16]を押してチャンネル16を選択します。海岸局から最寄りの船舶に援助を求めることがあるため、チャンネル16を聴取してください。
- [CH16]を押さなくても、約10秒後（初期設定値）にチャンネル16が自動的に選択されます。（☞P66）



■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

◇ Distress中継呼び出しの受信

Distress中継呼び出しを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD DISTRESS RELAY」が表示され、表示部とキーのバックライトが点滅します。

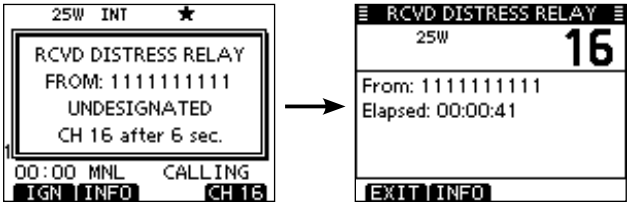
① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。

[IGN]
Distress中継呼び出しを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- [PTT]を押しても、DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したDistress中継呼び出しの情報を表示します。（☞P63）

[ACPT]
Distress中継呼び出しを聴取します。
[ACPT]を押したあと、[CH16]を押してチャンネル16を選択します。海岸局から最寄りの船舶に援助を求めることがあるため、チャンネル16を聴取してください。
- [CH16]を押さなくても、約10秒後（初期設定値）にチャンネル16が自動的に選択されます。（☞P66）



◇ Distress中継呼び出し受信証（ACK）の受信

Distress中継呼び出し受信証（ACK）を受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD DTRS RELAY ACK」が表示され、表示部とキーのバックライトが点滅します。

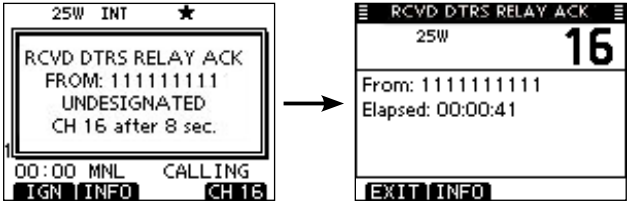
① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。

[IGN]
Distress中継呼び出し受信証（ACK）を無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- [PTT]を押しても、DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信した受信証（ACK）の情報を表示します。（☞P63）

[ACPT]
Distress中継呼び出しを聴取します。
[ACPT]を押したあと、[CH16]を押してチャンネル16を選択します。海岸局から最寄りの船舶に援助を求めることがあるため、チャンネル16を聴取してください。
- [CH16]を押さなくても、約10秒後（初期設定値）にチャンネル16が自動的に選択されます。（☞P66）

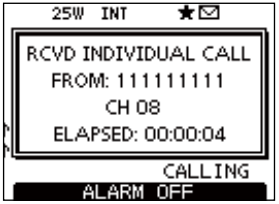


■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

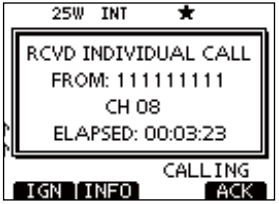
◇個別呼び出しの受信

個別呼び出しを受信すると：
- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD INDIVIDUAL CALL」が表示されます。
  カテゴリーによっては、画面のバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。



② いずれかのキーを押します。



[IGN]
個別呼び出しを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信した個別呼び出しの情報を表示します。（☞P64）

[ACK]
「INDIVIDUAL ACK」画面を表示して、呼び出しに応答します。状況に応じて、「Unable to Comply」（応答できない）、「Propose New Channel」（音声通話チャンネルを再指定）を選択します。
個別呼び出しに対する受信証の送信操作について、詳細は28ページをご覧ください。

DSC設定の「INDIVIDUAL ACK」（☞P65）を「Auto（Unable）」に設定しておくと、個別呼び出しを受信したときに自動で応答します。
この場合、送信、および受信したDSCコールは、送信履歴、および受信履歴にそれぞれ保存されます。

◇ グループ呼び出しの受信

グループ呼び出しを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD GROUP CALL」が表示されます。
  カテゴリーによっては、画面のバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。

- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

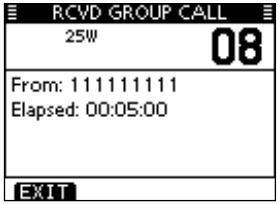
② いずれかのキーを押します。

[IGN]
グループ呼び出しを無視して、通常画面に戻します。

- DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したグループ呼び出しの情報を表示します。（☞P64）

[ACPT]
呼び出してきた局が指定したチャンネル（例:チャンネル08）を選択して、アナウンスを聞きます。



■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

◇ 全船呼び出しの受信

全船呼び出しを受信すると：
- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD ALL SHIPS CALL」が表示されます。
  カテゴリーによっては、画面のバックライトが約2分間点滅します。

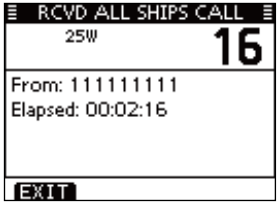
① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。

[IGN]
全船呼び出しを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信した全船呼び出しの情報を表示します。（☞P64）

[ACPT]
呼び出してきた局が指定したチャンネル（例:チャンネル16）を選択して、アナウンスを聞きます。



◇ 海域呼び出しの受信

海域呼び出しを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD GEOGRAPHICAL」が表示されます。
  カテゴリーによっては、画面のバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。

- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

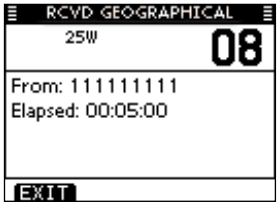
② いずれかのキーを押します。

[IGN]
海域呼び出しを無視して、通常画面に戻します。

- DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信した海域呼び出しの情報を表示します。（☞P64）

[ACPT]
呼び出してきた局が指定したチャンネル（例:チャンネル16）を選択して、アナウンスを聞きます。



GPS受信機を接続していないとき、または接続したGPS受信機に問題があるときは、自局の位置に関係なくすべての海域呼び出しを受信します。

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

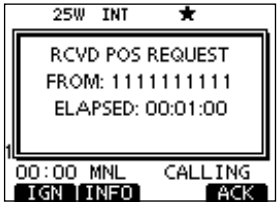
◇ ポジションリクエストの受信

ポジションリクエストを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD POS REQUEST」が表示され、表示部とキーのバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。



[IGN]
ポジションリクエストを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「☑」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したポジションリクエストの情報を表示します。（☞P64）

[ACK]
「POSITION REPLY」画面を表示して、応答します。（☞P44）

DSC設定の「POSITION ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、ポジションリクエストを受信したときに自動で応答します。
この場合、送信、および受信したDSCコールは、送信履歴、および受信履歴にそれぞれ保存されます。

◇ ポジションレポートの受信

ポジションレポートを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD POSITION REPORT」が表示され、表示部とキーのバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。

[EXIT]
ポジションレポートを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「[✉]」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

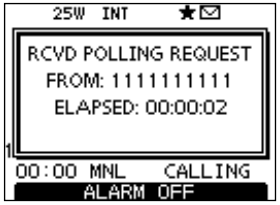
[INFO]
受信したポジションレポートの情報を表示します。（☞P64）

■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

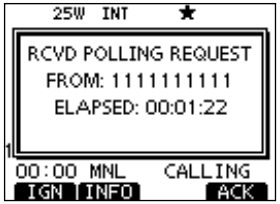
◇ ポーリングリクエストの受信

ポーリングリクエストを受信すると：
- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD POLLING REQUEST」が表示され、表示部とキーのバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。



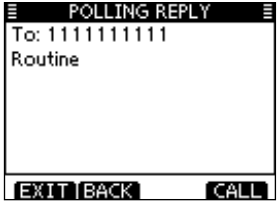
② いずれかのキーを押します。



[IGN]
ポーリングリクエストを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「[✉]」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したポーリングリクエストの情報を表示します。（☞P64）

[ACK]
「POLLING REPLY」画面を表示して、応答します。（☞P48）



DSC設定の「POSITION ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、ポーリングリクエストを受信したときに自動で応答します。
この場合、送信、および受信したDSCコールは、送信履歴、および受信履歴にそれぞれ保存されます。

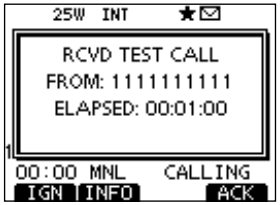
◇ テスト呼び出しの受信

テスト呼び出しを受信すると：

- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「RCVD TEST CALL」が表示され、表示部とキーのバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② いずれかのキーを押します。



[IGN]
テスト呼び出しを無視して、通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「✉」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。

[INFO]
受信したテスト呼び出しの情報を表示します。（☞P64）

[ACK]
「TEST ACK」画面を表示して、応答します。（☞P42）

DSC設定の「TEST ACK」（☞P65）を「Auto」に設定しておくと、ポジションリクエストを受信したときに自動で応答します。
この場合、送信、および受信したDSCコールは、送信履歴、および受信履歴にそれぞれ保存されます。

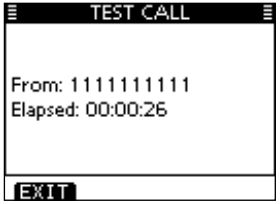
■DSCコール（デジタル選択呼び出し）の受信

◇テスト受信証の受信

テスト受信証を受信すると：
- アラーム音が約2分間鳴ります。
- 「Received ACK」が表示され、表示部とキーのバックライトが約2分間点滅します。

① [ALARM OFF]を押して、アラームとバックライトの点滅を止めます。
- [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に示す画面が表示されます。

② テスト受信証の内容を確認します。
③ [EXIT]を押します。
- 通常画面に戻します。
- DSCモードを解除します。
- 「☑」表示は点滅をつづけます。また、その呼び出しは受信履歴に保存されます。



■送信履歴について

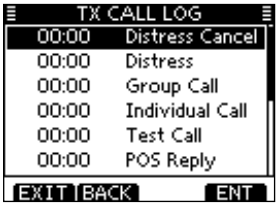
本製品は、送信したDSC呼び出しを最大20件、自動的に保存します。保存されたDSC呼び出しは、通信業務日誌の補助として使用できます。

① DSCコールメニューの「TX CALL LOG」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Transmitted Call Log〉
([MENU]を押す)(アイコン選択)(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のDSC呼び出しを選択したあと、[ENT]を押します。
③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、DSC呼び出しの内容をスクロールします。
④ 表示しているDSC呼び出しを削除するときは、[DEL]を押します。
- 確認画面を表示しますので、削除するときは[OK]を押してください。

⑤ [EXIT]を押して、通常画面に戻します。



■ 受信履歴について

本製品は、遭難信号と遭難信号以外のDSC呼び出しをそれぞれ最大20件、自動的に保存します。保存されたDSC呼び出しは、通信業務日誌の補助として使用できます。

- 未読のDSC呼び出しがあるときは、通常画面の右上に「✉」表示が点滅します。

◇ 遭難信号の受信履歴

① [LOG]を押して「RCVD CALL LOG」を選択します。
または、DSCコールメニューの「RCVD CALL LOG」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Reveived Call Log〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② [▲]/[▼]を押して「Distress」を選択してから、[ENT]を押します。
- 遭難信号は、「Distress」に保存されています。
- 未読のDSC呼び出しがあるときは、「✉」表示が点灯します。
- 全てのDSC呼び出しを読み終えているときは、「🖂」表示が点灯します。
- DSC呼び出しを受信していないときは、何も表示しません。

③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のDSC呼び出しを選択したあと、[ENT]を押します。

④ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、DSC呼び出しの内容をスクロールします。

⑤ 表示しているDSC呼び出しを削除するときは、[DEL]を押します。
- 確認画面を表示しますので、削除するときは[OK]を押してください。

⑥ [EXIT] を押して、通常画面に戻します。

◇ そのほかの受信履歴

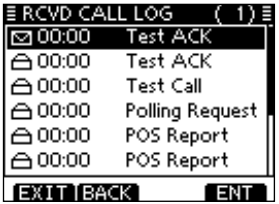
① [LOG]を押して「RCVD CALL LOG」を選択します。
または、DSCコールメニューから、「Received Call Log」を選択します。

DSC

〈MENU〉→〈DSC〉→〈Reveived Call Log〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② [▲]/[▼]を押して「Others」を選択してから、[ENT]を押します。
- 遭難信号以外のDSC呼び出しは、「Others」に保存されています。
- 未読のDSC呼び出しがあるときは、「✉」表示が点灯します。
- 全てのDSC呼び出しを読み終えているときは、「🖂」表示が点灯します。
- DSC呼び出しを受信していないときは、何も表示しません。

③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のDSC呼び出しを選択したあと、[ENT]を押します。



④ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、DSC呼び出しの内容をスクロールします。
- DSC呼び出しの種類によって、保存される情報が異なります。

⑤ 表示しているDSC呼び出しを削除するときは、[DEL]を押します。
- 確認画面が表示されますので、削除するときは[OK]を押してください。

⑥ [EXIT] を押して、通常画面に戻します。

■ DSC設定について

◇ 位置情報の入力（☞P20）

◇ 個別呼び出し用ID/グループ呼び出し用IDの登録（☞P17、P18）

◇ 個別呼び出し用ID/グループ呼び出し用IDの削除（☞P19）

◇ 自動応答機能について

個別呼び出し、ポジションリクエスト、ポーリングリクエスト、またはテスト呼び出しを受信したときに、個別呼び出しの受信証、自局の位置情報、送信要求やテスト呼び出しに対する応答を自動的に送信するように設定できます。

「INDIVIDUAL ACK」を「Auto (Unable)」に設定すると、個別呼び出しを受信したときに「Unable to Comply (No Reason Given)」で受信証を自動で送信します。

① DSC設定メニューから、「INDIVIDUAL ACK」、「POSITION ACK」、または「TEST ACK」を選択します。

DSC SET

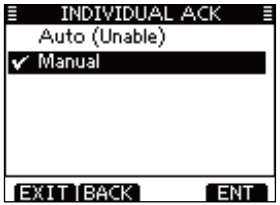
〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Individual ACK〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

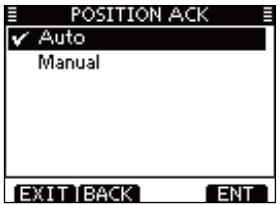
〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Position ACK〉

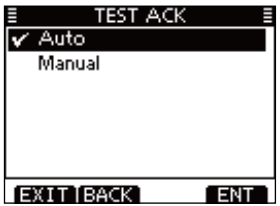
〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Test ACK〉

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Auto」、または「Manual」を選択してから、[ENT]を押します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。

※下記は、初期設定時の表示です。







③ [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。

■DSC設定について（つづき）

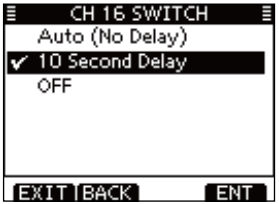
◇ チャンネル16切り替え機能

Distressコール（遭難信号）を受信すると、無線機の運用チャンネルをチャンネル16に切り替えるように規格で定められています。しかし、このチャンネル16切り替え機能を「OFF」に設定すると、Distressコール（遭難信号）を受信しても、選択しているチャンネルを維持することができます。

① DSC設定メニューから、「CH 16 SWITCH」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈CH 16 Switch〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Auto (No Delay)」、「10 Second Delay」、または「OFF」を選択してから、[ENT]を押します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。



Auto (No Delay):
Distressコール（遭難信号）を受信して、情報画面表示中に[ACPT]を押すと、チャンネル16を選択します。

10 Second Delay:
Distressコール（遭難信号）を受信して、情報画面表示中に[ACPT]を押しても、約10秒間はDistressコールを受信する前に選択していた運用チャンネルを表示します。
そのあと、自動的にチャンネル16に切り替わります。
（初期設定値）

OFF: Distressコール（遭難信号）を受信しても、選択している運用チャンネルを保持します。
- 「 」表示が点灯します。

③ [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。

◇ DSCデータ出力について

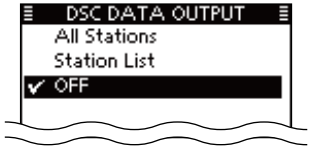
この機能は、DSC呼び出しを受信したとき、NMEA出力端子に接続している外部機器に受信したDSCデータを出力する船舶局を設定します。

① DSC設定メニューから、「DSC DATA OUTPUT」を選択します。

DSC SET

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈DSC Data Output〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「All Stations」、「Station List」、または「OFF」を選択してから、[ENT]を押します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。



All Stations: 受信したすべてのDSC呼び出しを、NMEA出力端子から出力します。
Station List: 個別呼び出し用IDに登録している船舶局からのDSC呼び出しだけを、NMEA出力端子から出力します。
OFF: DSC呼び出しを受信しても、DSCデータを出力しません。(初期設定値)

③ [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。

◇ アラーム設定

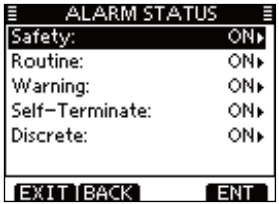
DSC呼び出しのカテゴリーやステータスごとに、アラームを鳴らすか、鳴らさないかを設定します。

① DSC設定メニューから、「ALARM STATUS」を選択します。

DSC SET

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈Alarm〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のカテゴリー、あるいはステータスを選択してから、[ENT]を押します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- 「Safety」、「Routine」、「Warning」、「Self-Terminate」、および「Discrete」から選択します。
(初期設定値 : ON)



③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「ON」、または「OFF」を選択してから、[ENT]を押します。
④ [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。

■DSC設定について（つづき）

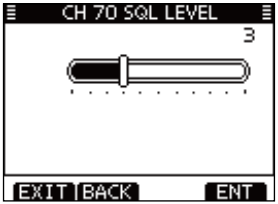
◇チャンネル70のスケルチレベル

チャンネル70のスケルチレベルを設定します。
本製品では、スケルチレベルを「1」（開きやすい）から「10」（開きにくい）、または「OPEN」の11段階から選択できます。
「OPEN」は、スケルチが完全に開いた状態を維持します。

① DSC設定メニューから、「CH 70 SQL LEVEL」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈CH 70 SQL Level〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して、ノイズが聞こえなくなるレベルに調整し、[ENT]を押します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。



（初期設定値）

③ [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。

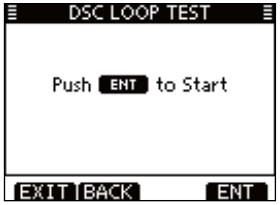
◇DSCループテスト

DSCループテストは、送信用DSC信号を無線機内部の音声回路に送り、送信と受信信号を音声レベルで比較させることで、DSC回路の動作を確認します。

① DSC設定メニューから、「DSC LOOP TEST」を選択します。

〈MENU〉→〈DSC SET〉→〈DSC Loop Test〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② [ENT]を押して、DSCループテストを開始します。
- [BACK]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。



- 送信DSC信号と、受信DSC信号が一致すると、「OK」を表示します。

③ [EXIT]を押すと、通常画面に戻ります。

手順②で「NG」を表示するときは、送信、または受信、あるいは両方のDSC回路に異常があります。
この場合は、お買い上げの販売店、または弊社サービス受付窓口に修理をご依頼ください。

■ AISトランスポンダー（船舶自動識別システム）を使用した個別呼び出しについて

本製品に、弊社製AISトランスポンダー（MA-500TRJ）を接続すると、個別呼び出しIDを設定することなく、MA-500TRJの画面上で選択した船舶局に個別呼び出しを送信できます。
この場合の呼び出しタイプは、「Routine」（ルーチン）に自動で設定されます。
接続方法については、87ページをご覧ください。

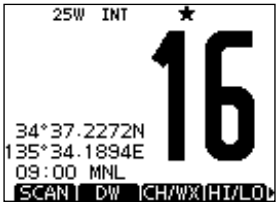
DSC機能を正しく運用するために、チャンネル70でのスケルチレベルが適切に設定されているか確認してください。（☞P68）

Step 1：トランスポンダーの操作

① プロッター画面、ターゲットリスト画面、または危険船リスト画面で、任意のAISターゲットを選択します。
- AISターゲットの詳細画面から、次の手順に進むこともできます。
- 本製品が、通常画面であることを確認してください。通常画面以外では、AISトランスポンダーを使用した個別呼び出しを送信できません。

② [DSC]を押して、音声通話チャンネル（船舶間通信チャンネル）選択画面を表示させます。
[▲]、または[▼]を押して、音声通話チャンネルを選択します。
- 音声通話チャンネルは、あらかじめ、推奨されている順番でMA-500TRJに設定されています。
- 手順①で海岸局を選択した場合は、海岸局から音声通話チャンネルを指定されるため、自船側ではチャンネルを変更できません。このような場合は、MA-500TRJの画面に「音声チャンネルが基地局から指定されます」が表示されます。

トランスポンダーの表示



無線機の表示

③ [DSC]を押して、AISターゲットに個別呼び出しを送信します。
- ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- 個別呼び出しを送信できなかったときは、トランスポンダーの画面に「DSC送信の失敗」が表示されます。

トランスポンダーの表示

無線機の表示

☞次ページにつづく

■AISトランスポンダー（船舶自動識別システム）を使用した個別呼び出しについて（つづき）

④ 個別呼び出しを送信すると、トランスポンダーの画面に「DSCの送信成功」が表示されます。
- [戻る]を押すと、手順②で音声通話チャンネルを選択する前の画面に戻ります。
- 本製品は、受信証（ACK）を受信するまで、チャンネル70で待機します。

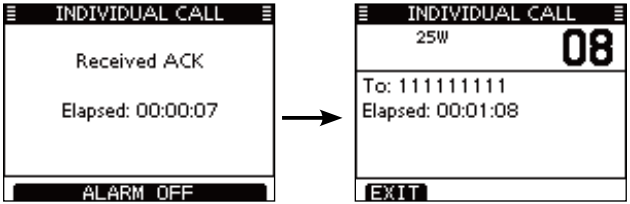
トランスポンダーの表示

無線機の表示

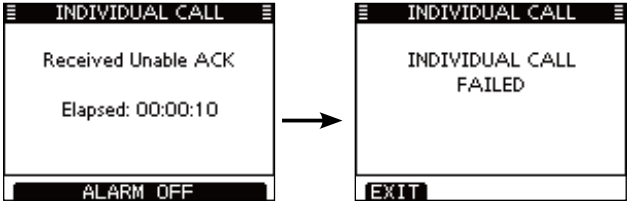
Step 2：無線機の操作

⑤ 受信証（ACK）を受信すると、アラーム音が鳴り、表示部とキーのバックライトが点滅します。
- 「Able to comply」（応答可）の受信証（ACK）を受信したときは、[ALARM OFF]を押してアラームとバックライトの点滅を止めます。
  このとき、手順②で選択した音声通話チャンネル（船舶間通話チャンネル）を同時に選択します。
- 呼び出したAISターゲット（船舶局）が手順②で指定したチャンネルを使えないときは、異なるチャンネルが選択されます。
- マイクロホンの[PTT]を押しながら話します。
- 選択したAISターゲット（船舶局）のMMSIコード、またはネームを確認できます。
- 「Unable to comply」（応答不可）で受信証（ACK）を受信したときは、[ALARM OFF]を押してアラームとバックライトの点滅を止めたあと、「INDIVIDUAL CALL FAILED」を表示します。

「Able to comply」を受信



「Unable to comply」を受信



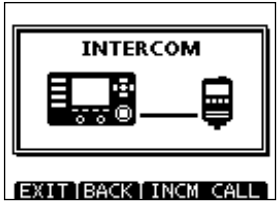
⑥ 通話後は、[EXIT] を押して、通常画面に戻します。

■ インターカム操作

本製品に別売品コマンドマイク(HM-195B)を接続すると、インターカム(船内通話)機能を使用できます。
コマンドマイクの接続方法については、本書90ページをご参照ください。

- インターカム操作中は、送信できません。
- インターカム操作中は、受信信号がミュートされます。

① [MENU]を押します。
② ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「INCM」アイコンを表示させます。
③ [INCM]を押します。
- 「INTERCOM」画面を表示します。



④ [INCM CALL]を長く押します。
- 押しているあいだ、無線機とコマンドマイクから呼び出し音が鳴ります。
- 「CALL」を表示します。

⑤ マイクロホンの[PTT]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって、普通に会話する大きさの声で話します。
- 送話側では「TALK」を表示し、受話側では「LSTN」を表示します。
- 本製品のスピーカー音量を調整するときは、[VOL]を回します。
- コマンドマイクのスピーカー音量を調整するときは、[VOL/SQL]を回します。

送話側の表示

受話側の表示

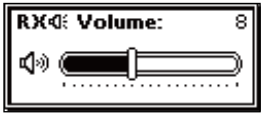
⑥ [PTT] スイッチをはなすと、スピーカーから相手の応答が聞こえます。
⑦ [EXIT] を押すと、通常画面に戻ります。

ご参考に
インターカム操作中は、送受信は中断されます。
また、送信中の場合は、インターカム機能は使用できません。

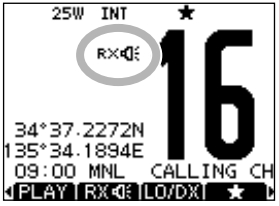
■ RXヘイラー機能

本製品は、RXヘイラー機能に対応しています。RXヘイラー機能ON時、拡声器を経由して甲板や船内で受信音が聞こえます。
拡声器の接続方法については、85ページを参照してください。

① [RX]を押します。
- 「RX Volume」画面を表示します。



② ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して、拡声器の出力音量を調整します。
③ 音量調整後は、[ENT]を押します。
- 「RX」表示が点灯します。



④ RXヘイラー機能を解除するときは、[RX]を押します。

RXヘイラー機能動作中に音量を調整するときは
① [RX]を長く(約1秒)押して「RX Volume」画面を表示させます。
② ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して拡声器の出力音量を調整します。
③ 調整後は、[ENT]を押します。

■ ヘイラーモードの操作

ヘイラーモードでは、マイクロホンの音声を拡声器から出力できます。また、拡声器からの音声を、無線機本体(マイクロホン含む)、およびコマンドマイクのスピーカーから出力できます。
拡声器の接続方法については、85ページを参照してください。
- ヘイラーモード時は、送信できません。
- ヘイラーモード時は、受信信号がミュートされます。

① [MENU]を押します。
② ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「HAILER」アイコンを表示させます。
③ [HAILER]を押します。
- 「HAILER」画面を表示します。

④ [PTT]スイッチを押しながら、マイクロホンに向かって、普通に会話する大きさの声で話します。
- 拡声器の音量を調整するときは、[PTT]を押しながらダイヤルを回します。

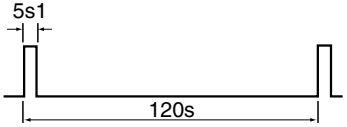
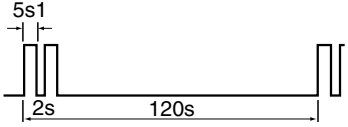
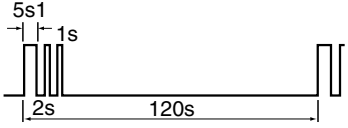
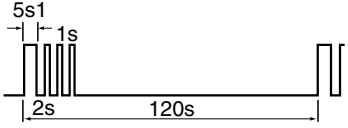
⑤ [EXIT]を押すと、ヘイラーモードを解除します。

ご参考に
ヘイラーモード中は、送受信は中断されます。
また、送信中は、ヘイラーモードを使用できません。

■ 自動汽笛機能

自動汽笛機能をOFFにするまで、繰り返しフォグホーン(汽笛)が鳴ります。
4つのパターンは、音響信号として状況に応じて使用します。
拡声器から汽笛を出力します。

汽笛の周波数は、MENU画面で変更できます。(☞P79)
※この機能をご使用になる場合は、本製品に拡声器を接続する必要があります。

タイプ	パターン		パターン使用例
UNDERWAY (航行中)	120秒ごとに、汽笛が5秒間鳴ります		航行中の船舶(動力船)が進行中
STOP(停止)	120秒ごとに、汽笛が5秒間2回、2秒間隔を空けて鳴ります。		航行中の船舶(動力船)が停止
SAIL(帆走)	120秒ごとに、汽笛が、5秒間1回、1秒間2回、2秒間隔を空けて鳴ります。		航行中の船舶(帆船、漁ろうに従事している船舶、運転不自由船、操縦性能制限船及び喫水制限船(他の動力船に引かれているものを除く)ならびに他の船舶を引き、および押している動力船に限る)
TOW(曳航)	120秒ごとに、汽笛が、5秒間1回、1秒間3回、2秒間隔を空けて鳴ります。		曳航中の船舶(有人)

☞次ページにつづく

■自動汽笛機能（つづき）

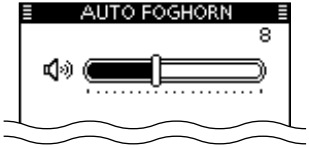
① HORNメニューの「AUTO FOGHORN」を選択します。

HORN

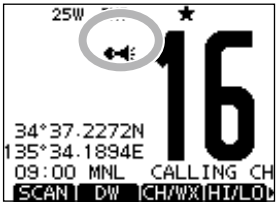
〈MENU〉→〈HORN〉→〈Auto Foghorn〉
([MENU]を押す)（アイコン選択）(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、使用する汽笛のパターンを選択します。
選択後、[ENT]を押します。
- 「Underway」（航行中）、「Stop」（停止）、「Sail」（帆走）、「Tow」（曳航）から選択できます。

③ ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して汽笛の出力レベルを調整します。
調整後、[ENT]を押します。
- 汽笛の出力レベルは、20段階で調整できます。



④ [EXIT]を押して、通常画面に戻します。
- 「[icon]」アイコンが表示されます。



⑤ 自動汽笛機能を停止するときは、手順②で「OFF」を選択してください。

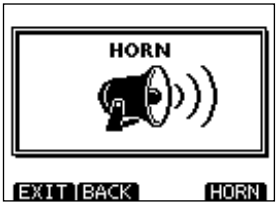
◇手動汽笛機能

① HORNメニューの「HORN」を選択します。
- 「HORN」画面を表示します。

HORN

〈MENU〉→〈HORN〉→〈Manual Horn〉
([MENU]を押す)（アイコン選択）(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② [HORN]を長く押します。
- 押しているあいだ、汽笛が鳴って、以下の画面を表示します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して汽笛の出力レベルを調整できます。



③ [EXIT]を押すと、手動汽笛機能を解除して、通常画面に戻ります。

手動汽笛機能動作中は、送受信は中断されます。
また、送信中は、手動汽笛機能を使用できません。

■ ボイスレコーダー機能

本製品には、直前に受信した受信音声の最後の約2分間を自動に録音するボイスレコーダーを搭載しています。はっきりと聞き取れなかったアナウンスなどを聞きなおすときなどに便利です。

初期設定では、信号を受信すると、自動的に録音を開始します。

- 録音中は、「REC」が点灯します。
- 信号がなくなると、約3秒後に録音を停止します。
- 運用チャンネルを変えると、録音を停止します。
- **録音した受信音声は、電源を切ると消去されます。**
  ※録音した受信音声を取り出すことはできません。
- MENU画面で、ボイスレコーダー機能をOFFできます。
  (☞P84)

◇ 録音音声の再生

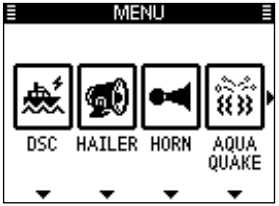
① [PLAY]を押すと、録音した受信音声を再生します。
- 再生中は、「▶」が点灯します。

② [STOP]を押すと、再生を停止します。

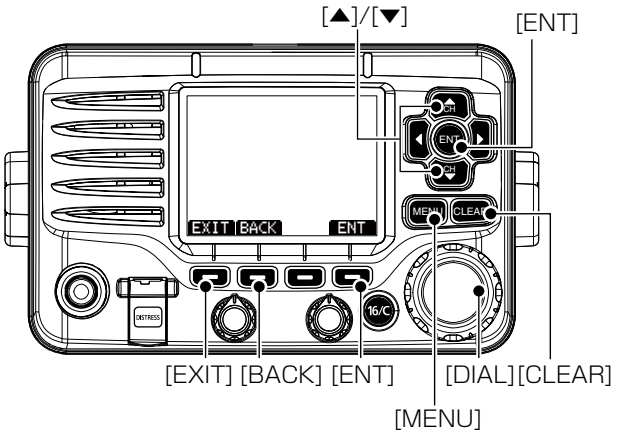
8 MENU画面について

■ 操作について

MENU画面では、初期設定されている運用条件を運用する状況やお好みの使いかたに応じて変更できます。



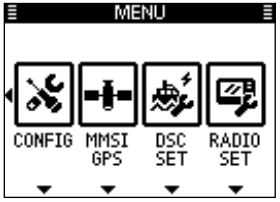
メニューアイコン



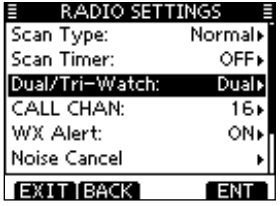
◇ 設定内容を変更する

① [MENU]を押します。

② ダイヤル、または[◀]/[▶]を操作して、「RADIO SET」アイコンを表示させます。
そのあと、[RADIO SET]を押します。

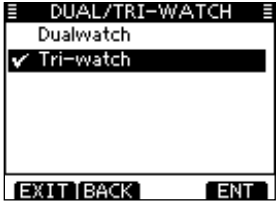


③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Dual/Tri-Watch」を選択して、[ENT]を押します。



④ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Tri-watch」を選択して、[ENT]を押します。
- [Tri-watch]欄に「✔」が表示されます。

⑤ [EXIT]を押すと、MENU画面を解除します。
- [CLEAR]、または[BACK]を押すと、前の画面に戻ります。



■ 設定項目の構成について

下記は、本製品のメニュー画面に表示される設定項目です。

◇ DSC

項目	参照頁	項目	参照頁
Individual Call	P25	Position Request	P38
Individual ACK★1	P29	Position Reply★1	P45
Group Call	P30	Position Report	P47
All Ships Call	P32	Polling Request	P38
Distress Call	P22	Polling Reply★1	P49
Received Call Log	P63	Test Call	P40
Transmitted Call Log	P62	Test ACK★1	P43

◇ CONFIG (Configuration)

項目	参照頁	項目	参照頁
Backlight	P78	UTC Offset	P79
Display Contrast	P78	Horn Frequency	P79
Key Beep	P78	Inactivity Timer	P80
Key Assignment	P78	Unit ID	P81
Key Movement	P79	COMMANDMIC SP★3	P81

★1 対応するDSCコールを受信したあとに表示されます。
★2 GPS受信機(NMEA0183 ver.2.0以降)を接続していない、またはGPS受信機からデータを正常に受信できていないときに表示されます。
★3 別売品のコマンドマイクの画面に表示されます。
★4 GPS受信機(NMEA0183 ver. 2.0以降)を接続しているときに表示されます。

◇ MMSI/GPS

本製品に設定されたMMSIコード、接続したGPS受信機からの情報★4を表示します。
※MMSIコードが設定されていない場合は、「NO DSC MMSI」を表示します。

◇ DSC SET

項目	参照頁	項目	参照頁
Position Input★2	P20	CH 16 Switch	P66
Individual ID	P17	DSC Data Output	P67
Group ID	P18	Alarm Status	P67
Individual ACK	P65	CH 70 SQL Level	P68
Position ACK	P65	DSC Loop Test	P68
Test ACK	P65		

◇ RADIO SET

項目	参照頁	項目	参照頁
Scan Type	P81	WX Alert	P82
Scan Timer	P82	Noise Cancel	P83
Dual/Tri-Watch	P82	Voice Record	P84
CALL CHAN	P12	FAV on MIC	P84

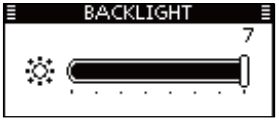
8 MENU画面について

■ 設定（CONFIG）項目について

◇ バックライト

表示部やキーのバックライトを設定します。
「1」（暗い）から「7」（明るい）、または「OFF」（消灯）の範囲で設定できます。

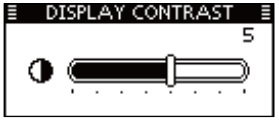
（初期設定値：7）



◇ コントラスト

表示部のコントラストについて設定します。
「1」（低い）から「8」（高い）の範囲で設定できます。

（初期設定値：5）



◇ キー操作音

キー操作時のビープ音をON（鳴る）/OFF（鳴らない）します。

（初期設定値：ON）

◇ 機能割り当て

必要に応じて、ソフトキーに機能を割り当てます。
各機能の詳細については、3ページをご覧ください。

① ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、割り当てるキー（位置）を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。
- 初期設定に戻すときは、ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Set default」を選択して、[ENT]を押します。

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、割り当てる機能を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。
- 選択した機能の横に「✔」が表示されます。

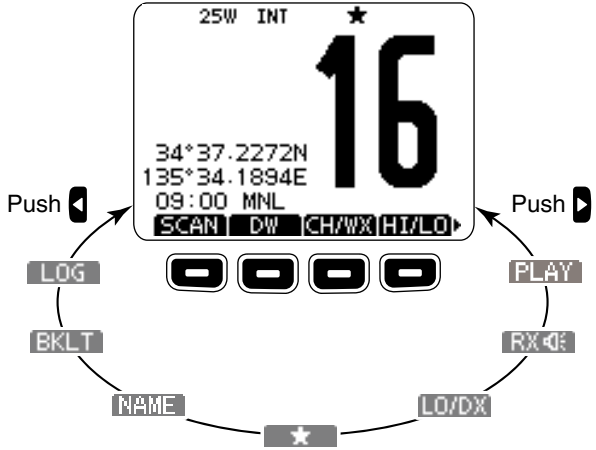
③ [EXIT]を押すと、MENU画面を解除します。
- [CLEAR]、または[BACK]を押すと、前の画面に戻ります。

◇ ファンクションキー切り替え方法

ソフトキーやメニューアイコンの切り替えかたを、「Single」、「Group」から選択します。　（初期設定値 : Group（☞P7））

シングル選択時の動作

[◀]/[▶]を押すごとに、アイコンが1つずつ切り替わります。



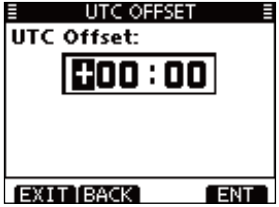
◇ 時差設定

現地時間を表示するために、UTC(協定世界時)との時差を設定します。

設定できる範囲は、「−14:00〜+14:00」(1分ステップ)です。

※日本標準時を表示させる場合は、「+9:00」を設定してください。

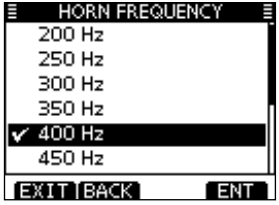
（初期設定値 : 00:00）



◇ 汽笛周波数

汽笛の音階を周波数で設定します。　（初期設定値 : 400Hz）

- 「200Hz」から「700Hz」の範囲で、50Hzステップで設定できます。



■設定（CONFIG）項目について（つづき）

◇ 自動復帰タイマー

通常画面に自動的に戻るタイマーを設定します。
このタイマーが動作する約10秒前からカウントダウンビープが鳴ります。

① CONFIGメニューの「INACTIVITY TIMER」を選択します。

CONFIG

〈MENU〉→〈CONFIG〉→〈Inactivity Timer〉
([MENU]を押す)(アイコン選択)(ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Not DSC Related」、または「DSC Related」を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。

③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、設定値を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。
- 選択した設定値には、「✔」が点灯します。

④ [EXIT]を押して、通常画面に戻します。
- [CLEAR]、または[BACK]を押すと、前の画面に戻ります。

- **Not DSC Related**

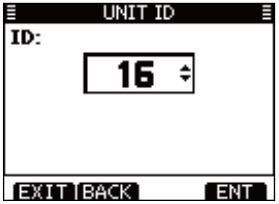
通常の運用画面以外で、なおかつDSCに関係しない画面を表示したまま、何も操作しない状態が設定時間つづくと、自動的に通常画面に戻ります。
1分から10分のあいだで設定します。
（初期設定値：10 min（分））

- **DSC Related**

DSCに関係する画面を表示したまま、何も操作しない状態が設定時間つづくと、自動的に通常画面に戻ります。
1分から15分のあいだで設定します。
（初期設定値：15 min（分））

◇ 機器ID

機器IDを1から69の範囲で設定します。　（初期設定値：16）
この機器IDは、弊社独自のNMEAフォーマットデータに含まれ、弊社製の海洋機器と接続しているときに、機器間でのデータ通信で使用されます。



◇ コマンドマイクスピーカー選択

HM-195B（別売品）に接続した外部スピーカーの設定です。
（初期設定値：Internal Speaker）

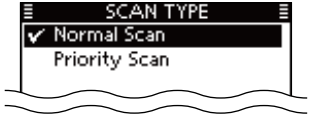
- 「COMMANDMIC SP」画面は、HM-195Bの画面に表示されます。
  無線機本体の画面には表示されません。
- この設定に関係なく、本製品のマイクロホンに内蔵しているスピーカーからは音が聞こえます。
  - Internal Speaker：
    HM-195Bに内蔵しているスピーカーを使う
  - External Speaker：
    HM-195Bに接続している外部スピーカーを使う

■ 無線機設定（RADIO SET）項目について

◇ スキャンタイプ

本製品には、ノーマルスキャン（Normal）とプライオリティースキャン（Priority）の2種類あります。
（初期設定値：Normal Scan）

- Normal scan：すべてのスキャン対象チャンネルをスキャンします。
- Priority scan：チャンネル16をモニターしながら、すべてのスキャン対象チャンネルをスキャンします。



☞次ページにつづく

■無線機設定（RADIO SET）項目について（つづき）

◇ スキャン再スタートタイマー

スキャン再スタートタイマーは、一時停止（OFF）、またはタイマースキャン（ON）から選択します。　　（初期設定値：OFF）
「OFF」設定時は、受信している信号が消えるまで、スキャンを一時停止します。

プライオリティースキャン中の動作
チャンネル16以外で信号を受信すると、信号を受信していても約5秒後にスキャンを再スタートします。チャンネル16で信号を受信すると、このタイマー設定に関係なく、信号が消えるまでスキャンを一時停止します。

ノーマルスキャン中の動作
信号を受信しているチャンネルに関係なく、信号を受信してから約5秒後にスキャンを再スタートします。

◇ デュアルワッチ / トライワッチ

デュアルワッチ、またはトライワッチ機能を[DW]キーに割り当てるための設定です。（☞P16）　　（初期設定値：Dualwatch）

◇ コールチャンネル

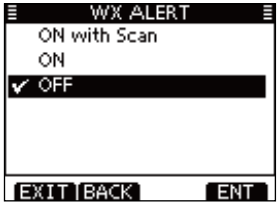
頻繁に使うチャンネルを素早く選択するために、コールチャンネルとして登録できます。詳しくは、12ページをご覧ください。

◇ ウェザーアラート機能

NOAA（米国海洋大気庁）放送局は、重要な気象情報を放送する前に、気象警報トーンを送信します。
気象警報トーンを受信すると、本製品を操作するまで「WX」表示が点滅します。　　（初期設定値：OFF）

- 「ON」を設定すると、「WX」表示の代わりに、「WX」表示が点灯します。

- **ON with Scan**：スキャン中に、プリセットされている全ウェザーチャンネルを順番にチェックします。
- **ON**：スキャン中に、直前に使用していたウェザーチャンネルを随時チェックします。
- **OFF**：ウェザーアラート機能を使いません。



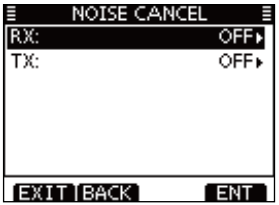
◇ ノイズキャンセル

送信、および受信用のノイズキャンセル機能を設定します。
RX : 受信音に含まれているノイズ成分を抑えます。
TX : 周囲の雑音を抑えて、雑音の少ない音声で送信します。

① RADIO SETメニューの「NOISE CANCEL」を選択します。

〈MENU〉→〈RADIO SET〉→〈Noise Cancel〉
([MENU]を押す) (アイコン選択) (ダイヤルを回して、[ENT]を押す)

② ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「RX：」、または「TX：」を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。

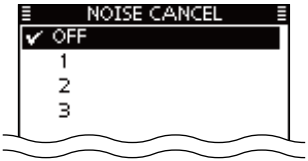


③ ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意の設定値、または「ON」/「OFF」を選択します。
そのあと、[ENT]を押します。
- 設定した値、または状態の横に「✔」を表示します。

④ [EXIT]を押して、通常画面に戻します。
- [CLEAR]、または[BACK]を押すと、前の画面に戻ります。

● RX
受信用のノイズキャンセル機能を設定します。
（初期設定値：OFF）

- **OFF：** ノイズキャンセル機能を使いません。
- **1：** 受信音声に含まれるノイズ成分を、約半分に抑えます。
- **2：** 受信音声に含まれるノイズ成分を、約1/3に抑えます。
- **3：** 受信音声に含まれるノイズ成分を、約1/10に抑えます。



● TX
送信用のノイズキャンセル機能を設定します。
（初期設定値：OFF）

- **OFF：** ノイズキャンセル機能を使いません。
- **ON：** 送信音声に含まれるノイズ成分を、約1/3に抑えます。

◇ ボイスレコーダー機能

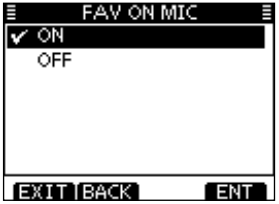
ボイスレコーダー機能を使用しないときは、「OFF」に設定してください。（☞P75）

（初期設定値：Auto (Last 120 sec(秒))）

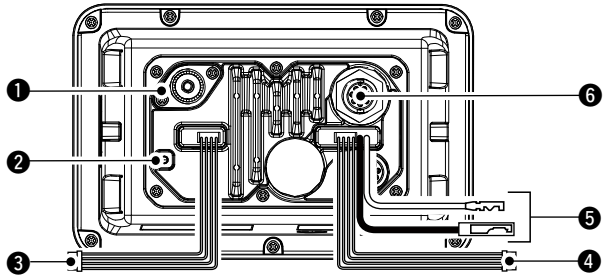
◇ マイク操作でのスキャン対象チャンネルの選択

マイクロホンの[▲]/[▼]操作で選択できるチャンネルについて設定します。（初期設定値：ON）

ON： スキャン対象チャンネルだけを選択します。
OFF： 全運用チャンネルを選択します。



■ 接続について



❶ アンテナコネクター

M型コネクターを使用して、船舶用VHFアンテナを接続します。使用するアンテナや取り付け位置などについては、お買い上げの販売店におたずねください。

> **ご注意：**
> 本製品にアンテナを接続していないときは、絶対に送信しないでください。

❷ GND（アース）端子

アースを接続する端子です。
感電事故や他の機器からの妨害を防ぐため、必ず市販のアース線とタッピングネジ（M3×8mm）を使用して船地面に接続してください。

❸ NMEA用リード線

茶色：NMEA出力用（−）送話側 B(Data-L)
白色：NMEA出力用（+）送話側 A(Data-H)
- ほかの船舶から受信した位置情報を、パソコン、またはナビゲーション機器（NMEA0183 ver. 3.01/GPSセンテンス：DSC/DSE対応）に出力します。

緑色：NMEA入力用（−）受話側 B(Data-L)
黄色：NMEA入力用（+）受話側 A(Data-H)
- GPS受信機に接続することで、GPS受信機から位置情報を取得します。
  NMEA0183 ver. 2.0以降に対応（GPSセンテンス：RMC/GGA/GNS/GLL/VTG）しているGPS受信機が必要です。
  詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

❹ 音声出力用リード線

青色：外部スピーカー接続用（+）
黒色：外部スピーカー接続用（−）
橙色：拡声器/汽笛接続用（+）
灰色：拡声器/汽笛接続用（−）
- ヘイラーモード、またはRXヘイラー機能で使用するスピーカー（25W入力/4Ωインピーダンス）と接続します。

> **ご注意：**
> 外部スピーカー、および拡声器/汽笛接続用のマイナスラインは、船舶のアースには接続しないでください。
> 外部スピーカー、または拡声器/汽笛用スピーカーのマイナスラインに接続してください。

☞次ページにつづく

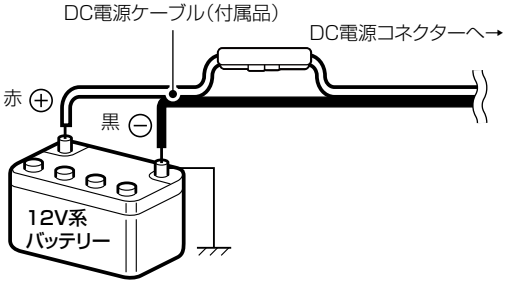
9 接続と保守について

■接続について（つづき）

❺ DC電源コネクター

付属のDC電源ケーブルを使用して、外部電源（DC13.8V）に接続します。

※極性を間違えないように十分注意して、付属のDC電源ケーブルを接続してください。



ご注意：
24V系バッテリーの船舶には、そのまま接続できません。DC-DCコンバーター（24Vを13.8Vに変換する）が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

❻ 外部マイクロホンジャック

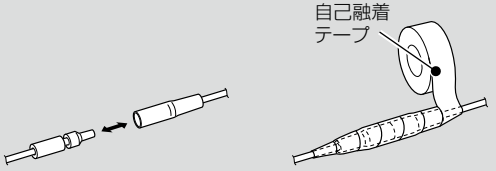
別売品のコマンドマイク（HM-195B）を接続します。

⚠警告

- 指定以外の電源や電圧を使用しないでください。
  火災、感電、故障の原因になります。
- DC電源ケーブルのヒューズホルダーを絶対に切断しないでください。
  ショートして発火、火災などの原因になります。

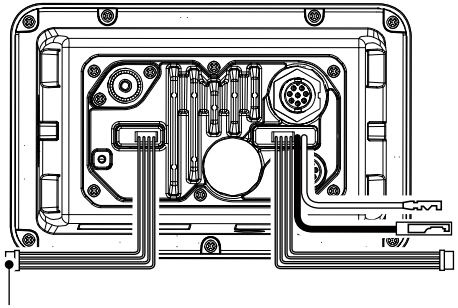
ご注意：

DC電源ケーブル、NMEA（入力/出力）リード線、外部スピーカーリード線や拡声器/汽笛リード線を接続したあとは、下記のようにコネクターおよびジャックに自己融着テープを巻き付けて、無線機本体の内部に浸水しないようにしてください。



◇ MA-500TRJと接続する場合

MA-500TRJに付属のNMEAケーブル(OPC-2014)を使用して、本製品とMA-500TRJのNMEA入力コネクターを接続します。
接続すると、任意のAISターゲットに対して、MMSIコードの入力操作を省略してDSCコール(個別呼び出し)を送信できます。

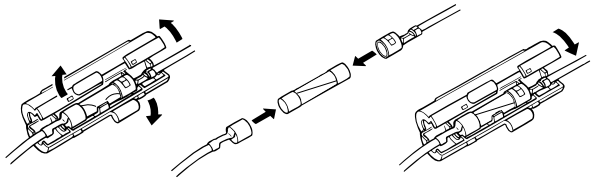


NMEA用リード線

茶色：NMEA出力用(−)送話側 B(Data-L)
OPC-2014の4番ピンと接続
白色：NMEA出力用(+)送話側 A(Data-H)
OPC-2014の5番ピンと接続
緑色：NMEA入力用(−)受話側 B(Data-L)
OPC-2014の2番ピンと接続
黄色：NMEA入力用(+)受話側 A(Data-H)
OPC-2014の3番ピンと接続

■ ヒューズの交換について

付属のDC電源ケーブルには、ヒューズが取り付けられています。
もしヒューズが切れて無線機が動作しなくなったときは、原因を取り除いたあとで、新しいものと交換してください。



ヒューズの定格：10A

■ 無線機の取り付けかた

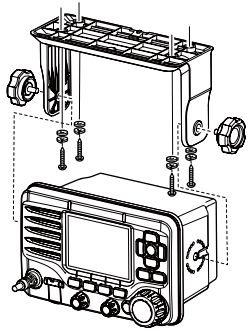
◇ 付属の取り付けブラケットを使用する場合

付属の取り付けブラケットを使用して、本製品を天井部やダッシュボードに取り付けられます。

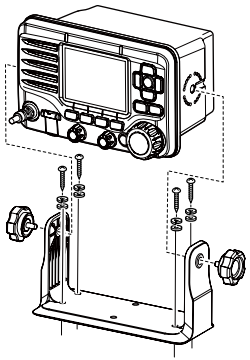
- 付属の4本のネジ(M5×20mm)を使用して、厚さが10mm以上で5kg以上の荷重に耐えられる場所に本製品をしっかり固定します。
- 操作時に本製品の表示部と視線が直角になるように、本製品を取り付けてください。

ご注意：
- 磁気コンパスから1m以上はなれた場所に本製品とマイクロホンを設置してください。
- 見る角度によって表示内容を読みにくいことがありますので、本製品の設置角度をご確認ください。

● 天井部への取り付け



● ダッシュボードへの取り付け

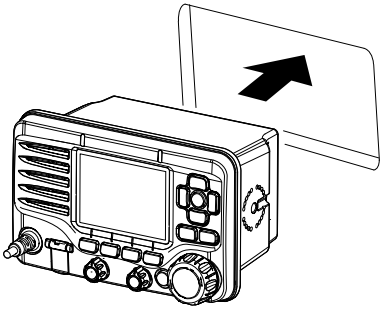


■ MB-75の取り付けかた

別売品のフラッシュマウントキット(MB-75)を使用すると、計器パネルのような平らな面に本製品を取り付けられます。

ご注意：
磁気コンパスから1m以上はなれた場所に本製品とマイクロホンを設置してください。

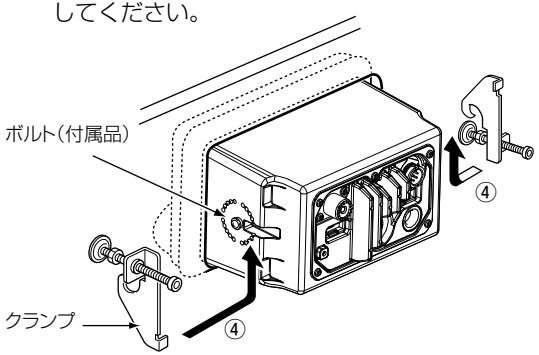
① 本書末に記載しているテンプレートを使用して、計器パネル(または本製品を取り付ける場所)に取り付け穴を開けます。
② 図のように、本製品を取り付け穴にはめ込みます。



◇ 取り付けかた

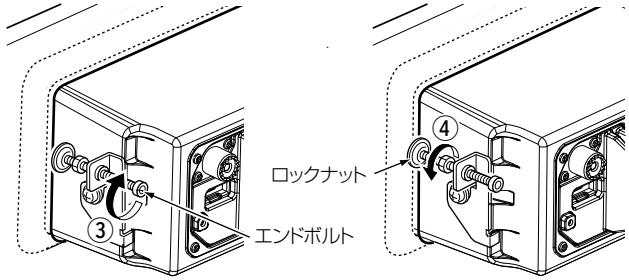
① 付属の2本のボルト(M5×8mm)を本製品の両側面に取り付けます。

② 本製品の両側面にクランプを取り付けます。
- クランプが、無線機本体と平行になっていることを確認してください。



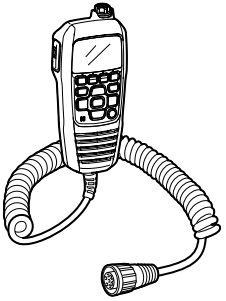
③ クランプが計器制御パネルの内側表面をしっかり押すように、ボルトを締め付けます。(時計方向に回す)

④ 図のように、ボルトがゆるまないようロックナットを締め付けます。(反時計方向に回す)



⑤ アンテナとDC電源ケーブルを接続してから、計器制御パネルを元の位置へ戻します。アンテナとDC電源ケーブルを接続してから、計器制御パネルを元の位置へ戻します。

■ HM-195Bの取り付けかた

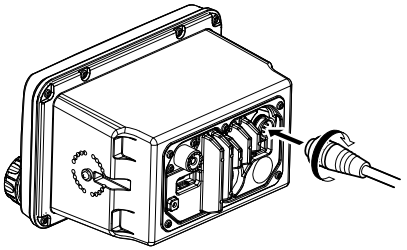


別売品のHM-195Bに付属する接続ケーブルを無線機に取り付ける必要があります。
接続ケーブルのコネクターは、キャビネットや壁などに設置できますので、壁に埋め込んだソケットのように使用できます。

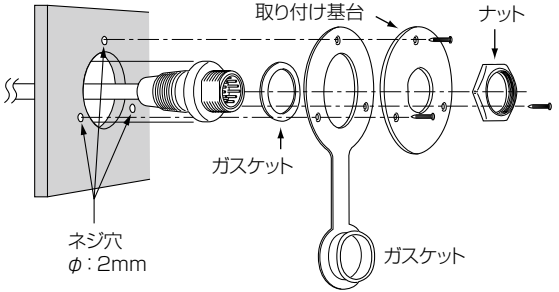
無線機からはなれた場所にコマンドマイクを設置して、遠隔で操作するために、別売品の延長ケーブルOPC-1541(6m)を最大2本、無線機と接続ケーブル(付属品)のあいだに接続すると、最長で18mまで延長できます。

◇ 取り付けかた

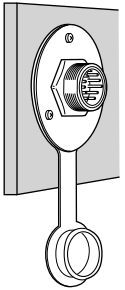
① HM-195Bに付属の接続ケーブルを外部マイクロホンジャックに差し込み、図のようにケーブルナットを締めてください。

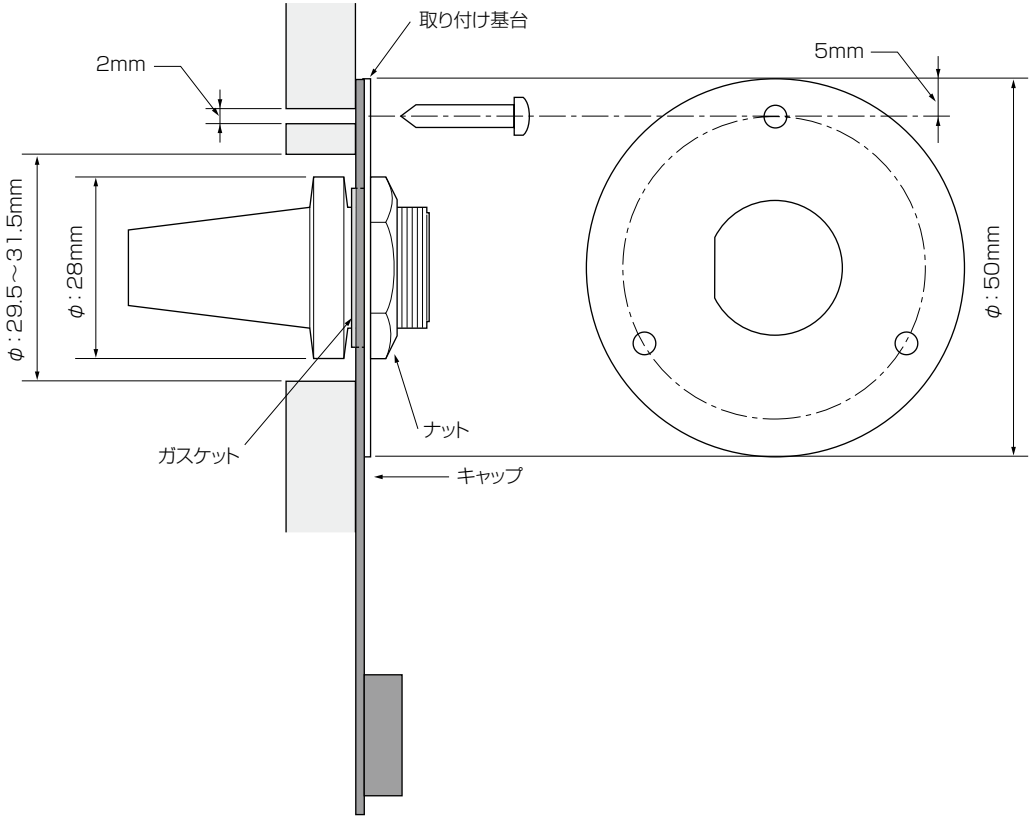


② 接続ケーブル(付属品)を壁に埋め込んだソケットのようにして使用する場合は、下記の手順で取り付けてください。
③ 取り付け基台をテンプレートとして、ケーブルとネジを固定する位置(穴)の印をつけます。
④ 印をつけた箇所に穴を開けます。
⑤ 右図のように、付属のネジを使用して取り付け基台を取り付けます。



⑥ 取り付けたあとは、図のようになります




取り付け基台
2mm
5mm
φ:29.5～31.5mm
φ:28mm
φ:50mm
ガスケット
ナット
キャップ

10 定格と別売品

■定格

◇一般仕様

チャンネル数：	国際チャンネル(INT)	57ch
	：ウェザーチャンネル(WX)	10ch
	DSC	1ch
周波数範囲：	送信	156.025～157.425MHz
	受信	156.300～163.275MHz
	DSC	156.525MHz
	※ウェザーチャンネルは米国で運用されているサービスのため、日本の海域および近海では受信できません。	
電波の型式：	F3E、F2B	
運用温度範囲：	−20～+60℃	
消費電流：	送信時(Highパワー)	5.5A以下
(13.8V時)	音量最大時(内部スピーカー)	1.5A以下
	音量最大時(外部スピーカー)	5.0A以下
電源電圧：	DC 13.8V±15%（マイナス接地）	
周波数安定度：	±10ppm(−20～+60℃)	
アンテナインピーダンス：	50Ω 不平衡	
外形寸法：	178.9(W)×113.9(H)×113.8(D) mm（突起物を除く）	
重量：	約1.4kg	

◇送信部

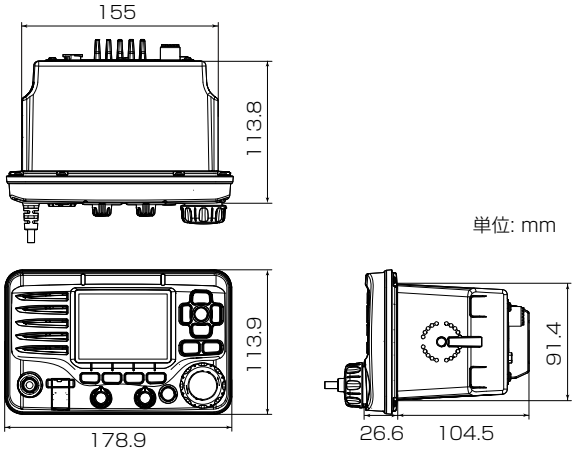
送信出力：	25W/1W
変調方式：	可変リアクタンス変調
最大周波数偏移	±5.0kHz
スプリアス発射強度：	3.125μW以下

◇受信部

受信方式：	ダブルスーパーヘテロダイン方式	
受信感度：	FM(12dB SINAD) −13dBμ(typical)	
	DSC(1% BER) −5dBμ emf(typical)	
スケルチ感度：	−7dBμ以下	
相互変調特性：	FM	75dB以上
	DSC(1% BER)	68dBμ以上
スプリアス妨害比：	FM	75dB以上
	DSC(1% BER)	73dBμ以上
隣接チャンネル選択度：	FM	75dB以上
	DSC(1% BER)	73dBμ以上
低周波最大出力：	15W以上 (4Ω負荷/外部スピーカー/10%歪時)	

※定格、外観、仕様などは、改良のため、予告なく変更することがあります。

◇ 寸法図



単位: mm

■ 別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧

- **MB-75** フラッシュマウント キット
  本製品をパネルに取り付ける場合にご使用ください。
- **HM-195B** コマンドマイク★
  インターカム（船内通話）機能を使用する場合の外部マイクロホンタイプのコントローラーです。
  6mの接続ケーブルと取り付け基台を付属しています。
  指定以外のケーブルをHM-195Bに接続しないでください。
- **OPC-1541 マイクロホン延長ケーブル**
  HM-195B用のマイクロホン延長ケーブル（6m）です。
  延長用にOPC-1541を無線機と接続ケーブルのあいだに2本まで接続できます。（最大18m）
- **MA-500TRJ** AISトランスポンダー
  本製品にMA-500TRJを接続すると、任意のAISターゲットに対して、MMSIコードの入力操作を省略してDSCコール（個別呼び出し）を送信できます。

★ IPX7の防水性能があります。
防水性能は、「IP表記について」（☞Piv）をご覧ください。

11 ご参考に

■ 故障かな？と思ったら

下記の現象は故障ではありませんので、修理に出す前にもう一度点検してください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまで、お問い合わせください。

現象	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	● 電源の接続不良 ● ヒューズが切れている	● 本製品の接続を確認する ● 原因を取り除いてから、新しいヒューズに交換する	P86 P87
スピーカーから音が出ない	● スケルチレベルが深すぎる ● 音量が小さすぎる	● [SQL]を回して、雑音が消える位置に設定する ● [VOL]を回して、聞きやすい音量に設定する	P10 P10
感度が悪い	● ATT機能がONになっている ● 同軸ケーブルの断線またはショート	● [LO/DX]を短く押して、ATT機能をOFFにする ● 同軸ケーブルを点検し、正常にする	P10 —
送信できない、またはHighパワー(25W)を選択できない	● 一部のチャンネルはLowパワー(1W)、または受信専用に設定されている ● 送信出力がLowパワー(1W)に設定されている	● チャンネルを変更する ● [HI/LO]を短く押して、Highパワー(25W)を選択する	P9、P10 P10
スキャンがスタートしない	● スキャンの対象となるチャンネルが設定されていない	● スキャンの対象チャンネルを設定する	P15
ビープ音が出ない	● ビープ音がOFFになっている	● MENU画面でビープ音をONにする	P78
DISTRESSコールが送信できない	● MMSI(DSC自局ID)コードが設定されていない	● MMSI(DSC自局ID)コードを設定する	P1

■ アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(☞P94)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

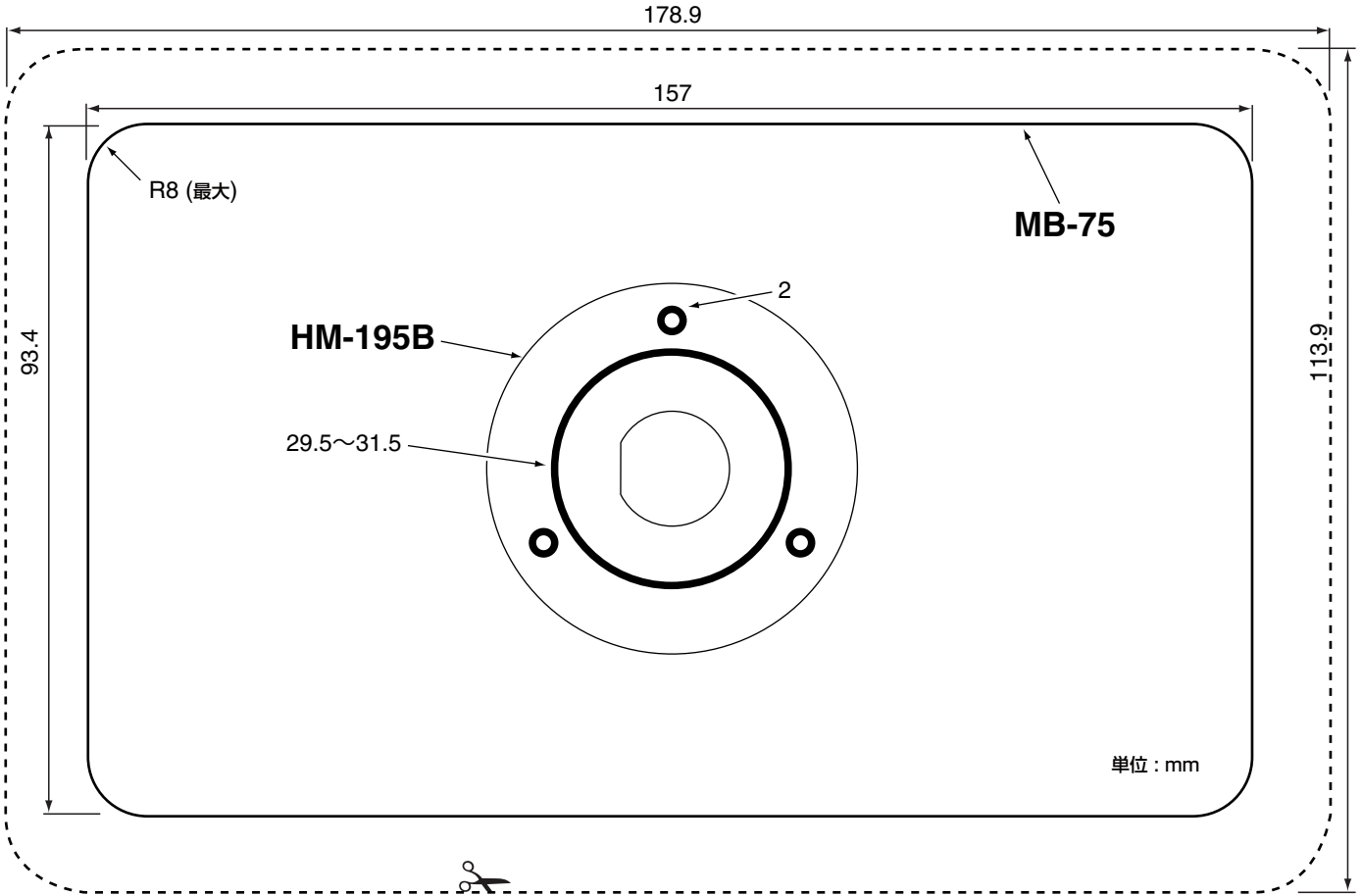
● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ をご覧ください。

12 チャンネルリスト

CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)	
	送信	受信		送信	受信		送信	受信		送信	受信
01	156.050	160.650	21	157.050	161.650	72	156.625	156.625	WX1	受信専用	162.550
02	156.100	160.700	22	157.100	161.700	73	156.675	156.675	WX2	受信専用	162.400
03	156.150	160.750	23	157.150	161.750	74	156.725	156.725	WX3	受信専用	162.475
04	156.200	160.800	24	157.200	161.800	75*	156.775	156.775	WX4	受信専用	162.425
05	156.250	160.850	25	157.250	161.850	76*	156.825	156.825	WX5	受信専用	162.450
06	156.300	156.300	26	157.300	161.900	77	156.875	156.875	WX6	受信専用	162.500
07	156.350	160.950	27	157.350	161.950	78	156.925	161.525	WX7	受信専用	162.525
08	156.400	156.400	28	157.400	162.000	79	156.975	161.575	WX8	受信専用	161.650
09	156.450	156.450	60	156.025	160.625	80	157.025	161.625	WX9	受信専用	161.775
10	156.500	156.500	61	156.075	160.675	81	157.075	161.675	WX10	受信専用	163.275
11	156.550	156.550	62	156.125	160.725	82	157.125	161.725			
12	156.600	156.600	63	156.175	160.775	83	157.175	161.775			
13	156.650	156.650	64	156.225	160.825	84	157.225	161.825			
14	156.700	156.700	65	156.275	160.875	85	157.275	161.875			
15*	156.750	156.750	66	156.325	160.925	86	157.325	161.925			
16	156.800	156.800	67	156.375	156.375	87	157.375	161.975			
17*	156.850	156.850	68	156.425	156.425	88	157.425	162.025			
18	156.900	161.500	69	156.475	156.475						
19	156.950	161.550	70	受信専用	156.525						
20	157.000	161.600	71	156.575	156.575						

*Lowパワー専用のチャンネルです。

テンプレート



切り取り線

MEMO

MEMO

MEMO

高品質がテーマです。

A-7156H-1J-②
Printed in Japan
© 2014–2015 Icom Inc.

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32